

平成26年度
県内避難者アンケート調査結果

平成 2 6 年 7 月

秋 田 県 企 画 振 興 部
総合政策課被災者受入支援室

目 次

I	調査の趣旨・概要	P 1
II	主な設問に対する回答	
	【1】 避難元の県	P 2
	【2】 記入者の年代	P 2
	【3】 現在の住居	P 3
	【4】 世帯構成	P 4
	【5】 住民票の異動	P 5
	【6】 住民票を異動しない理由	P 5
	【7】 秋田県に避難してきた理由	P 6
	【8】 秋田県内での相談相手	P 7
	【9】 主な生活資金	P 8
	【10】 生活費の変化	P 9
	【11】 心身の不調	P 10
	【12】 不調を訴える方	P 10
	【13】 不便を感じる行政サービス	P 11
	【14】 情報提供の状況	P 12
	【15】 情報提供の手段	P 13
	【16】 秋田県内での就労者の有無	P 14
	【17】 就労者	P 15
	【18】 就労形態	P 16
	【19】 就職活動	P 17
	【20】 就労希望者の希望職種	P 18
	【21】 就労希望者の希望雇用形態	P 19
	【22】 今後の予定	P 20
	【23】 秋田県での定住期間	P 22
	【24】 定住を決めた理由	P 23
	【25】 定住にあたって必要な支援	P 24
	【26】 定住の際の住居	P 25
	【27】 帰県の時期を決められない理由	P 26
	【28】 必要な支援	P 27
III	自由記述: 主なもの	
	【1】 避難先の自治体に対する要望	P 29
	【2】 国に対する要望	P 34
	【3】 避難元の自治体に対する要望	P 38
	【4】 避難者支援に関する意見	P 41
IV	経年比較	P 44
V	アンケート調査票	P 51

I 調査の趣旨・概要

1 目的

東日本大震災から3年3ヵ月が経過したが、秋田県に避難してきた方々の避難生活も長期化していることから、改めて、支援ニーズを把握し、今後の支援施策の検討の参考とするとともに、避難している方々の思いを被災県や避難元市町村等に伝えることを目的とする。

2 実施時期等

平成26年5月16日に対象世帯へ調査用紙を郵送

3 対象世帯

県内の避難世帯 416世帯

4 回収方法

郵送によるアンケート調査票の回収

5 回答率

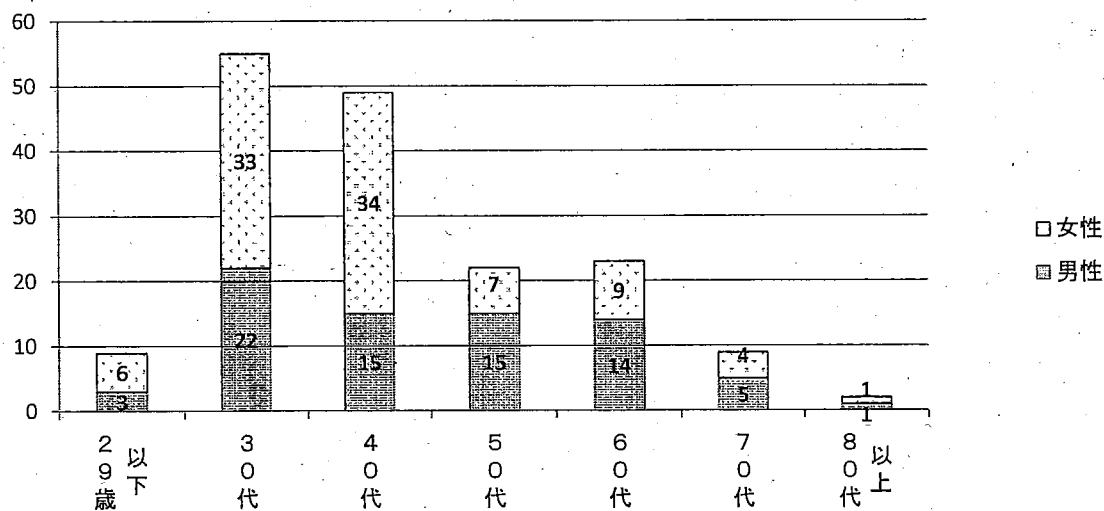
40.8% (170世帯)

Ⅱ 主な設問に対する回答

【1】 避難元の県

		回答世帯数	回答世帯数に占める割合	配布数
①	岩手県	9	5.3%	20
②	宮城県	40	23.5%	114
③	福島県	121	71.2%	282
	計	170		416

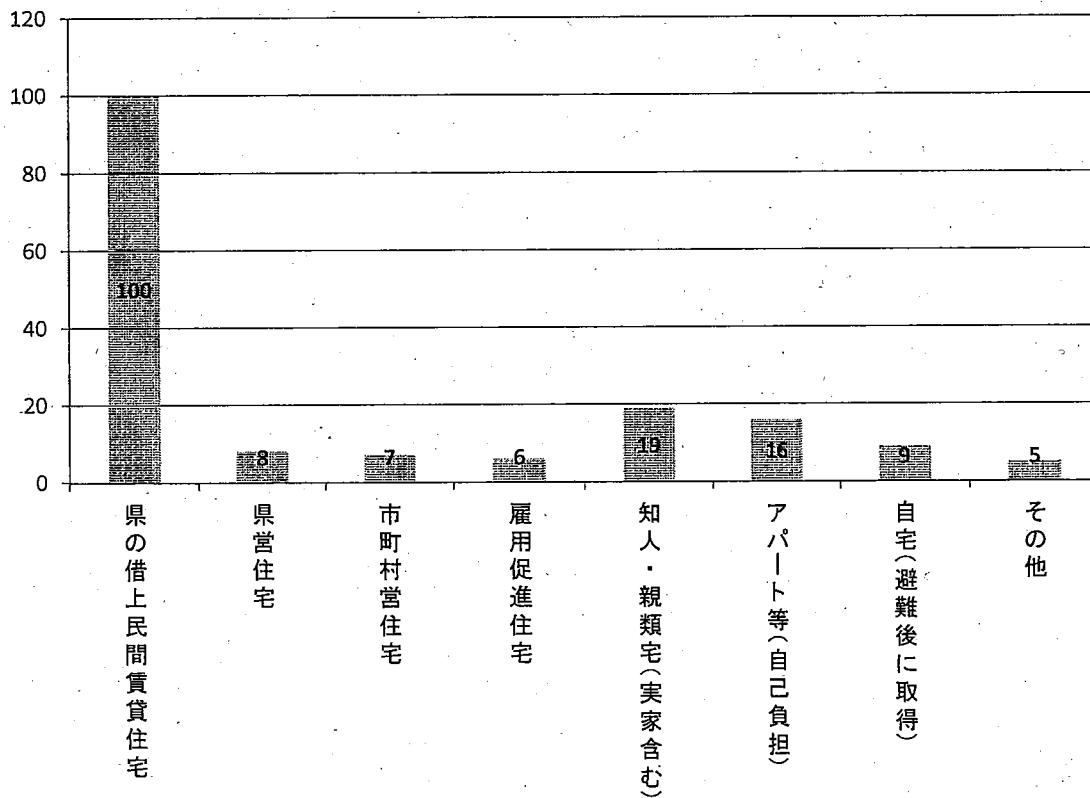
【2】 回答者の年代



		内 訳					
		男性	女性	合計	岩手県	宮城県	福島県
①	29歳以下	3	6	9	0	1	8
②	30代	22	33	55	1	10	44
③	40代	15	34	49	2	8	39
④	50代	15	7	22	1	9	12
⑤	60代	14	9	23	3	9	11
⑥	70代	5	4	9	0	2	7
⑦	80代以上	1	1	2	2	0	0
	合計	75	94	169	9	39	121

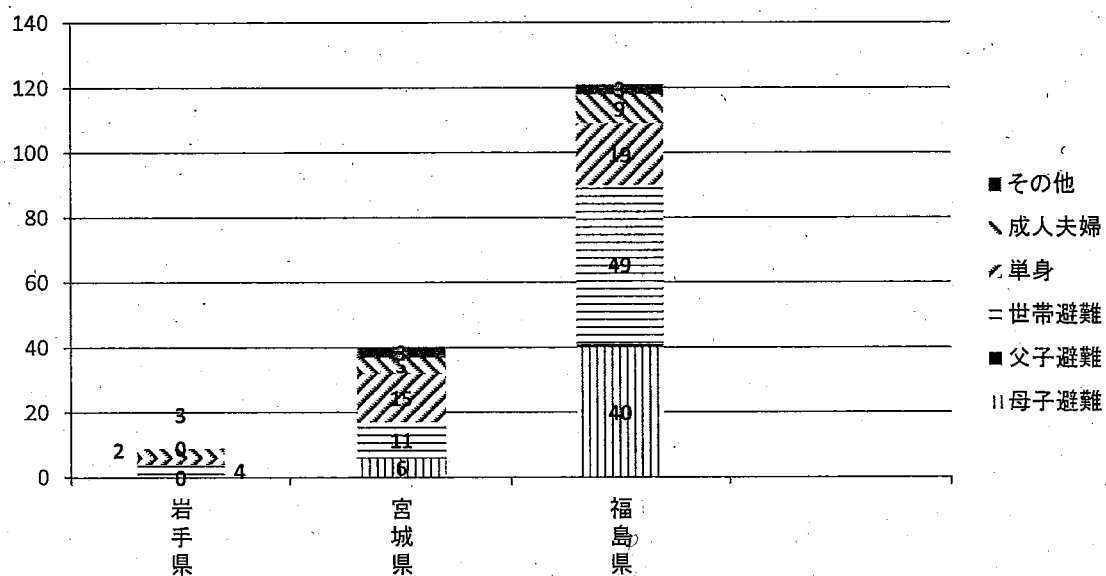
無回答:1名

【3】現在の住居



		内 訳				
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	県の借上民間賃貸住宅	100	58.8%	2	18	80
②	県営住宅	8	4.7%	1	4	3
③	市町村営住宅	7	4.1%	2	2	3
④	雇用促進住宅	6	3.5%	0	0	6
⑤	知人・親類宅(実家含む)	19	11.2%	1	5	13
⑥	アパート等(自己負担)	16	9.4%	1	5	10
⑦	自宅(避難後に取得)	9	5.3%	1	2	6
⑧	その他	5	2.9%	1	4	0
	合計	170		9	40	121

【4】 世帯構成



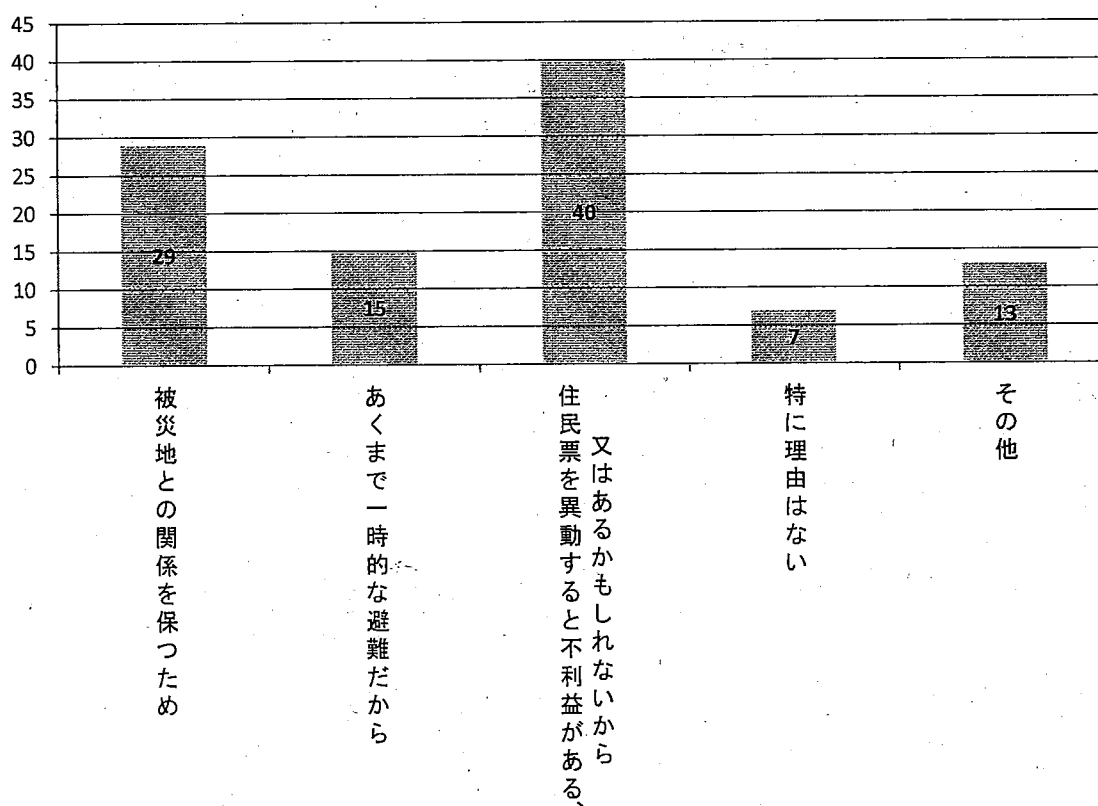
		内 訳				
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
子育て世帯	母子避難	46	27.1%	0	6	40
	父子避難	1	0.6%	0	0	1
	世帯避難	64	37.6%	4	11	49
成人世帯	单身	36	21.2%	2	15	19
	成人夫婦	17	10.0%	3	5	9
	その他	6	3.5%	0	3	3
合計		170		9	40	121

【5】住民票の異動

		回答世帯	割合	内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	全員異動している	79	46.5%	8	23	48
②	全員異動していない	78	45.9%	1	10	67
③	一部だけ異動している	12	7.1%	0	6	6
合 計		169		9	39	121

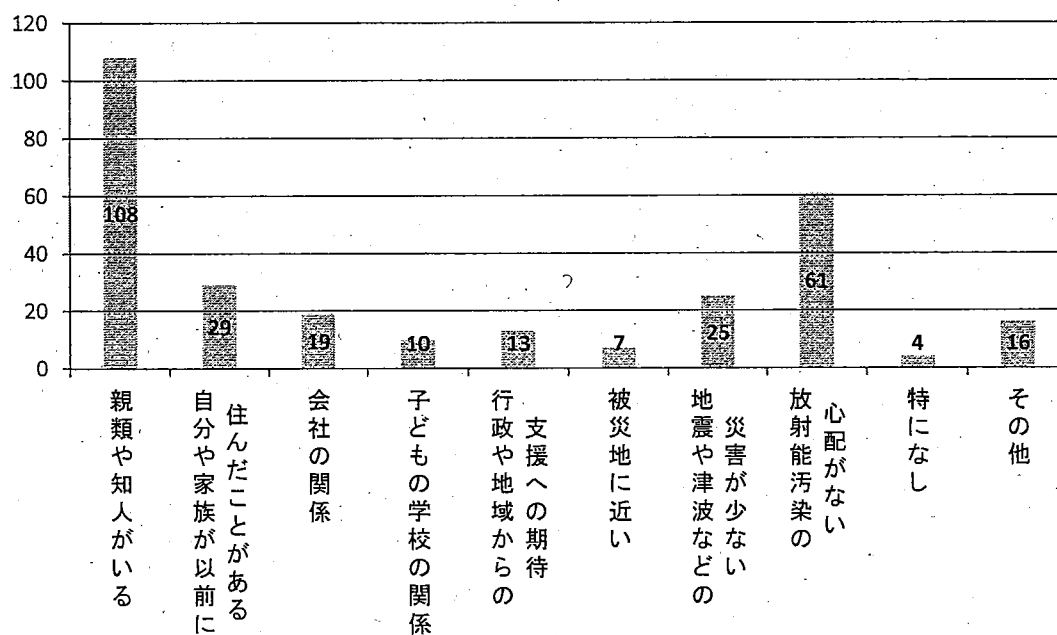
無回答:1名

【6】住民票を異動しない理由(複数回答有り)



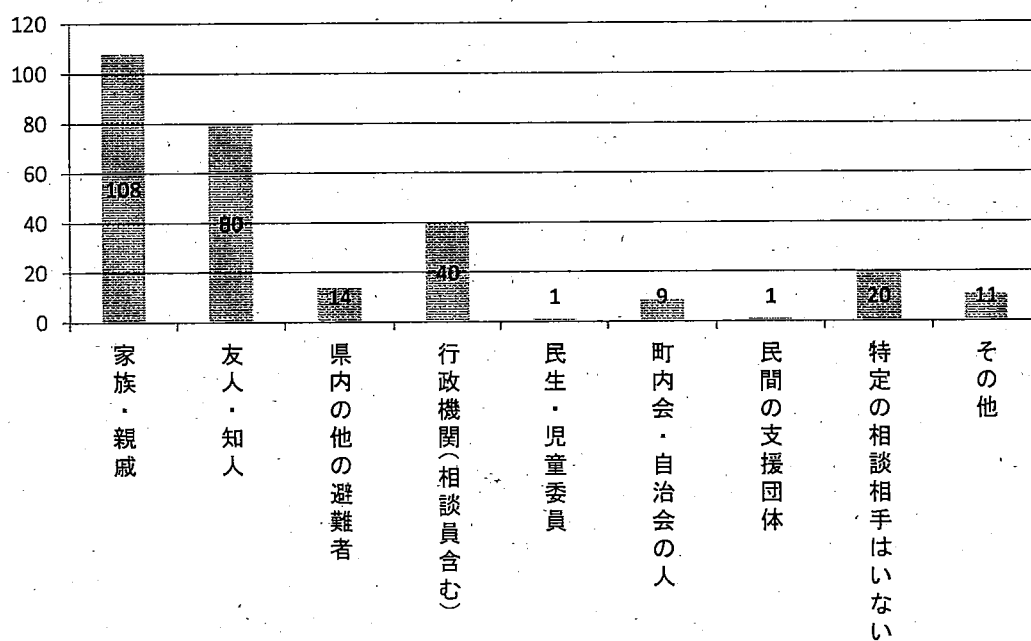
		回答世帯	割合	内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	被災地との関係を保つため	29	32.2%	1	6	22
②	あくまで一時的な避難だから	15	16.7%	0	2	13
③	住民票を異動すると不利益がある、又はあるかもしれないから	40	44.4%	0	2	38
④	特に理由はない	7	7.8%	0	2	5
⑤	その他	13	14.4%	0	4	9
合計		104		1	16	87

【7】 秋田県に避難してきた理由(Q2:複数回答可)



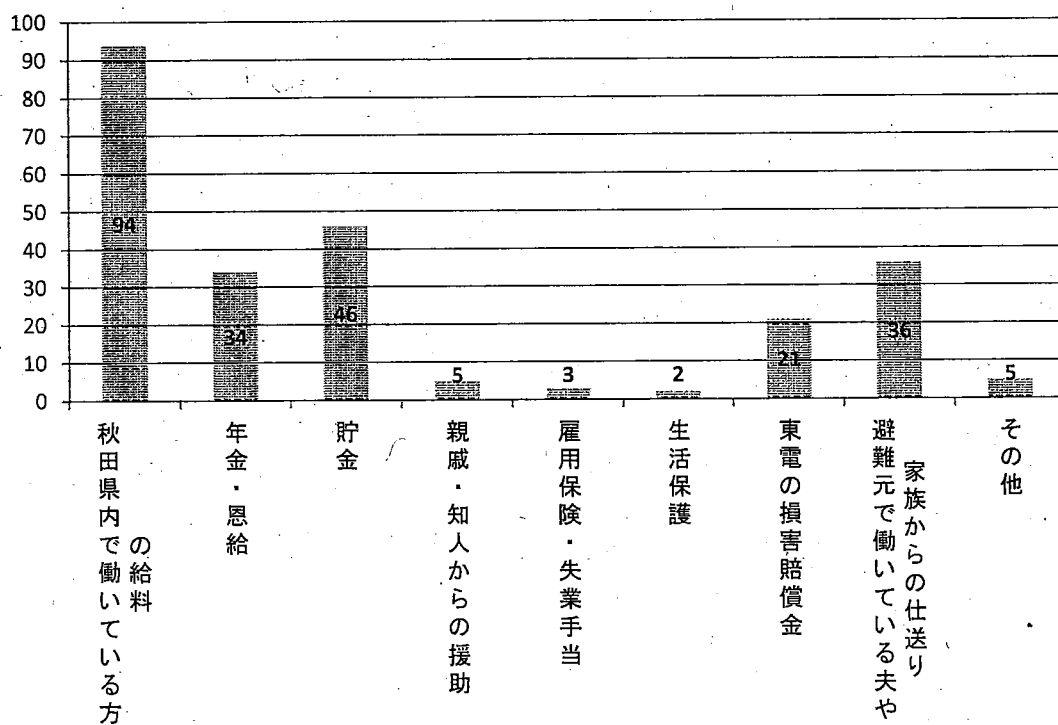
			内 訳			
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	親類や知人がいる	108	63.5%	7	25	76
②	自分や家族が以前に住んだことがある	29	17.1%	0	5	24
③	会社の関係	19	11.2%	2	8	9
④	子どもの学校の関係	10	5.9%	1	2	7
⑤	行政や地域からの支援への期待	13	7.6%	1	2	10
⑥	被災地に近い	7	4.1%	0	0	7
⑦	地震や津波などの災害が少ない	25	14.7%	2	5	18
⑧	放射能汚染の心配がない	61	35.9%	0	3	58
⑨	特になし	4	2.4%	0	2	2
⑩	その他	16	9.4%	1	4	11
合計		292		14	56	222

【8】 秋田県内での相談相手(Q3:複数回答可)



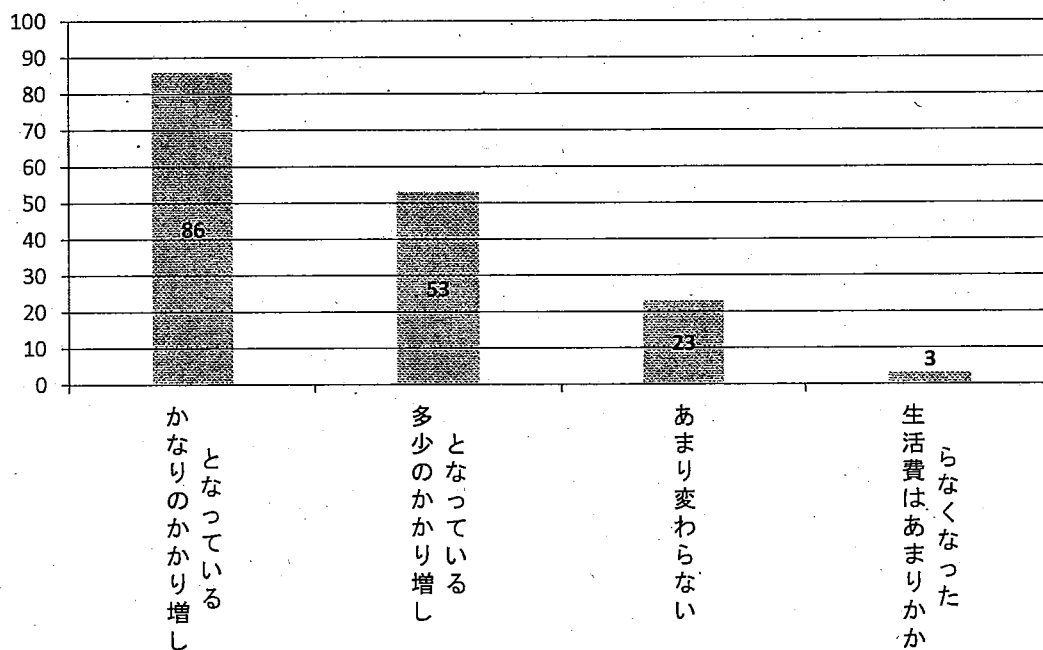
		内 訳				
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	家族・親戚	108	63.5%	8	25	75
②	友人・知人	80	47.1%	1	17	62
③	県内の他の避難者	14	8.2%	0	1	13
④	行政機関(相談員含む)	40	23.5%	2	10	28
⑤	民生・児童委員	1	0.6%	0	1	0
⑥	町内会・自治会の人	9	5.3%	2	5	2
⑦	民間の支援団体	1	0.6%	0	0	1
⑧	特定の相談相手はいない	20	11.8%	0	6	14
⑨	その他	11	6.5%	0	4	7
合計		284		13	69	202

【9】 主な生活資金(Q4:複数回答可)



		回答世帯	割合	内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	秋田県内で働いている方の給料	94	55.3%	3	24	67
②	年金・恩給	34	20.0%	5	11	18
③	貯金	46	27.1%	2	11	33
④	親戚・知人からの援助	5	2.9%	0	1	4
⑤	雇用保険・失業手当	3	1.8%	0	1	2
⑥	生活保護	2	1.2%	0	1	1
⑦	東電の損害賠償金	21	12.4%	0	0	21
⑧	避難元で働いている夫や家族からの仕送り	36	21.2%	0	3	33
⑨	その他	5	2.9%	1	2	2
	合計	246		11	54	181

【10】生活費の変化(Q5)

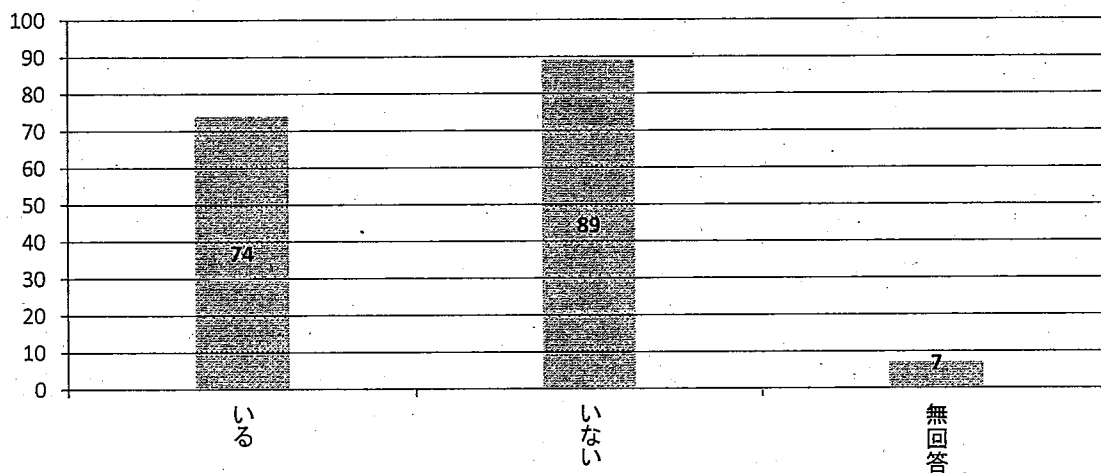


			内 訳		
	回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
① かなりのかかり増し となっている	86	50.6%	2	14	70
② 多少のかかり増し となっている	53	31.2%	4	16	33
③ あまり変わらない	23	13.5%	2	7	14
④ 生活費はあまりか からなくなった	3	1.8%	0	2	1
合計	165		8	39	118

無回答: 5名

			内 訳	
	回答世帯	割合	子育て世帯	成人世帯
① かなりのかかり増し となっている	86	50.6%	65	21
② 多少のかかり増し となっている	53	31.2%	33	20
③ あまり変わらない	23	13.5%	11	12
④ 生活費はあまりか からなくなった	3	1.8%	1	2
合計	165		110	55

【11】 現在、同居の家族の中で、秋田県内に避難してから、「眠れない」「集中力の低下」「イライラする」といった精神面の不調や「体がだるい」「めまいや頭痛」といった身体の不調を訴えるようになった方はありますか。(Q6)



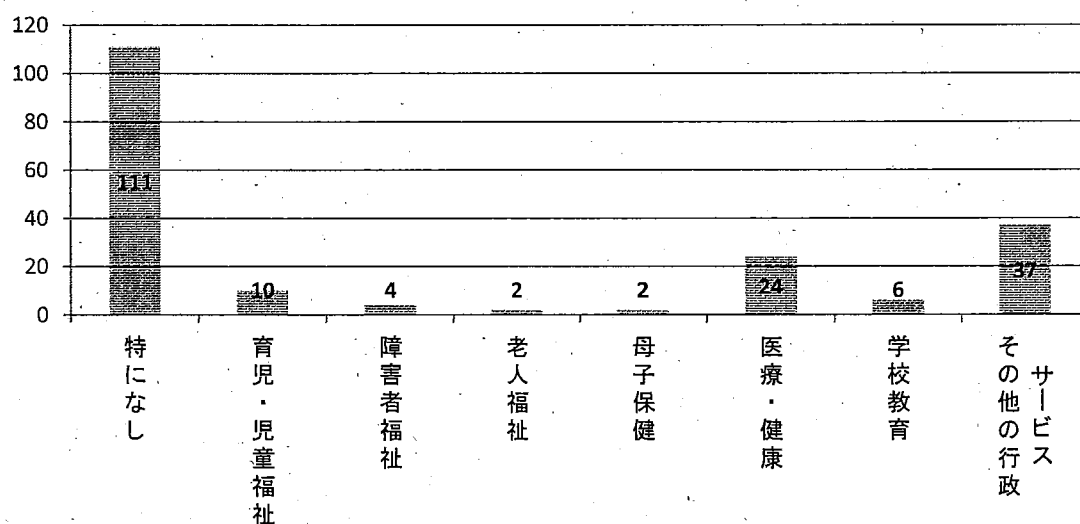
		内 訳				
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	いる	74	43.5%	4	19	51
②	いない	89	52.4%	4	20	65
③	無回答	7	4.1%	1	1	5
	合計	170		9	40	121

【12】 Q6で「いる」と答えた方にお聞きます。不調を訴える方はどなたですか。(Q6-1)

		回答世帯	割合
①	子ども	2	2.7%
②	子どもと大人	13	17.6%
③	大人	59	79.7%
	合計	74	

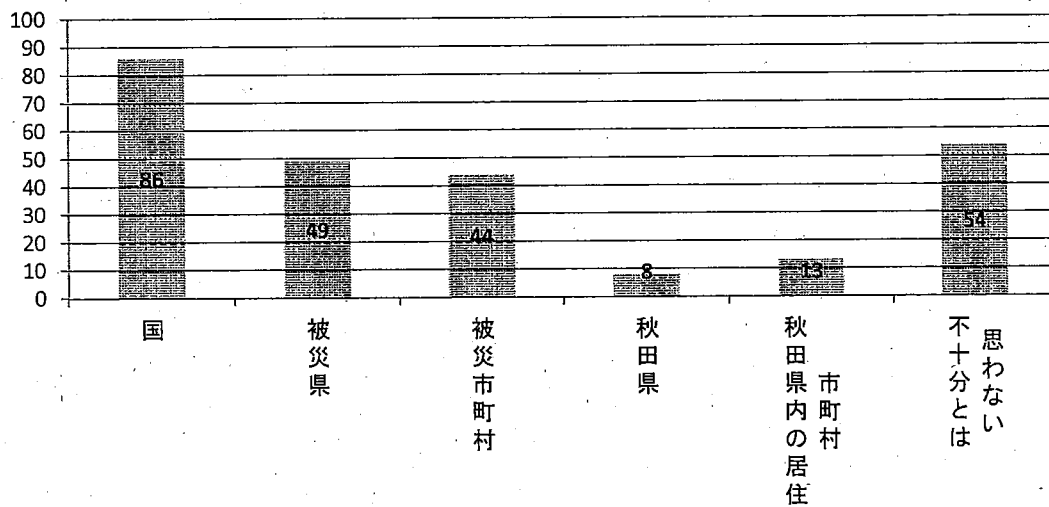
主な症状		
○不眠	26件	○うつ状態 5件
○イライラ	20件	○めまい 5件
○頭痛	15件	
○精神不安	13件	

【13】現在居住している市町村から提供される行政サービスで、不便を感じる分野について、お答え願います。(Q7:複数回答可)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	特になし	111	65.3%	6	27	78
②	育児・児童福祉	10	5.9%	0	1	9
③	障害者福祉	4	2.4%	0	3	1
④	老人福祉	2	1.2%	1	1	0
⑤	母子保健	2	1.2%	0	0	2
⑥	医療・健康	24	14.1%	1	5	18
⑦	学校教育	6	3.5%	0	0	6
⑧	その他の行政サービス	37	21.8%	0	6	31
	合計	196		8	43	145

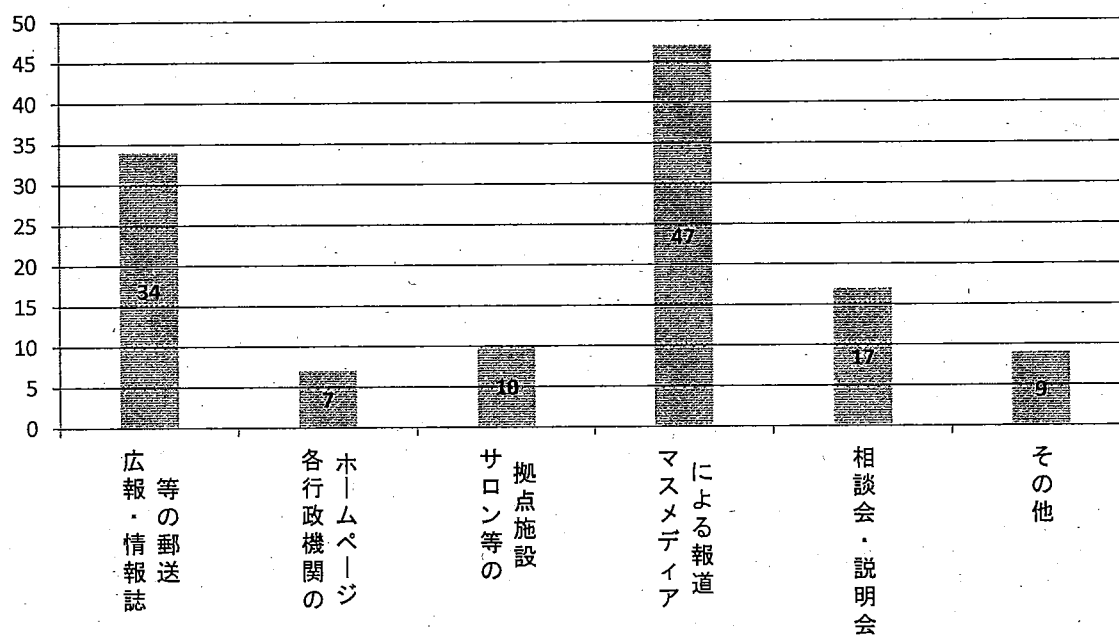
【14】支援制度など生活再建に必要な関係情報の提供が不十分と思う行政機関をお答え願います。(Q8:複数回答可)



			内 訳			
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	国	86	50.6%	1	12	73
②	被災県	49	28.8%	0	9	40
③	被災市町村	44	25.9%	3	9	32
④	秋田県	8	4.7%	1	3	4
⑤	秋田県内の居住市町村	13	7.6%	0	4	9
⑥	不十分とは思わない	54	31.8%	4	20	30
	合計	254		9	57	188

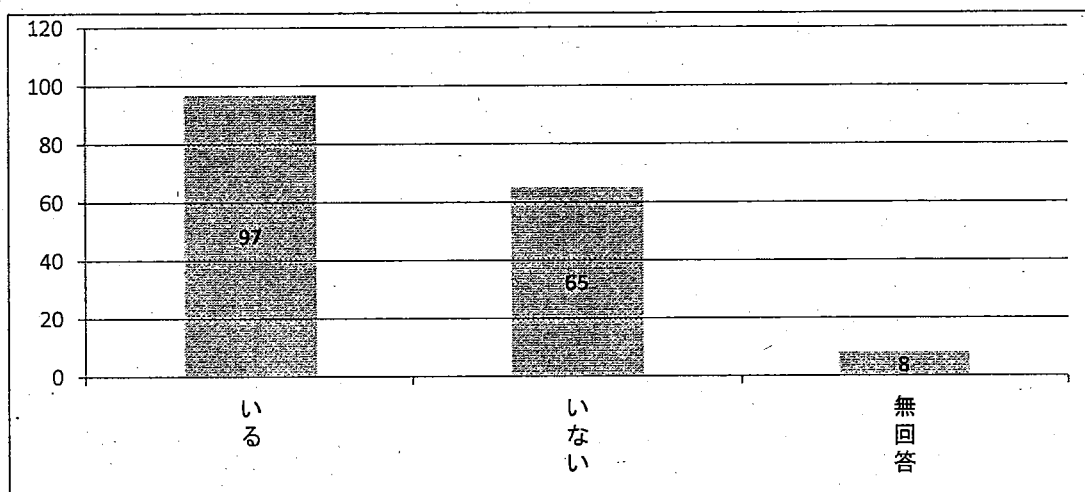
				内 訳	
		回答世帯	割合	子育て世帯	成人世帯
①	国	86	50.6%	62	24
②	被災県	49	28.8%	36	13
③	被災市町村	44	25.9%	30	14
④	秋田県	8	4.7%	5	3
⑤	秋田県内の居住市町村	13	7.6%	9	4
⑥	不十分とは思わない	54	31.8%	30	24
合計		254		172	82

【15】 行政機関等からの情報提供の手段として、もっと充実してほしいものをお答え願います。(Q9:複数回答可)



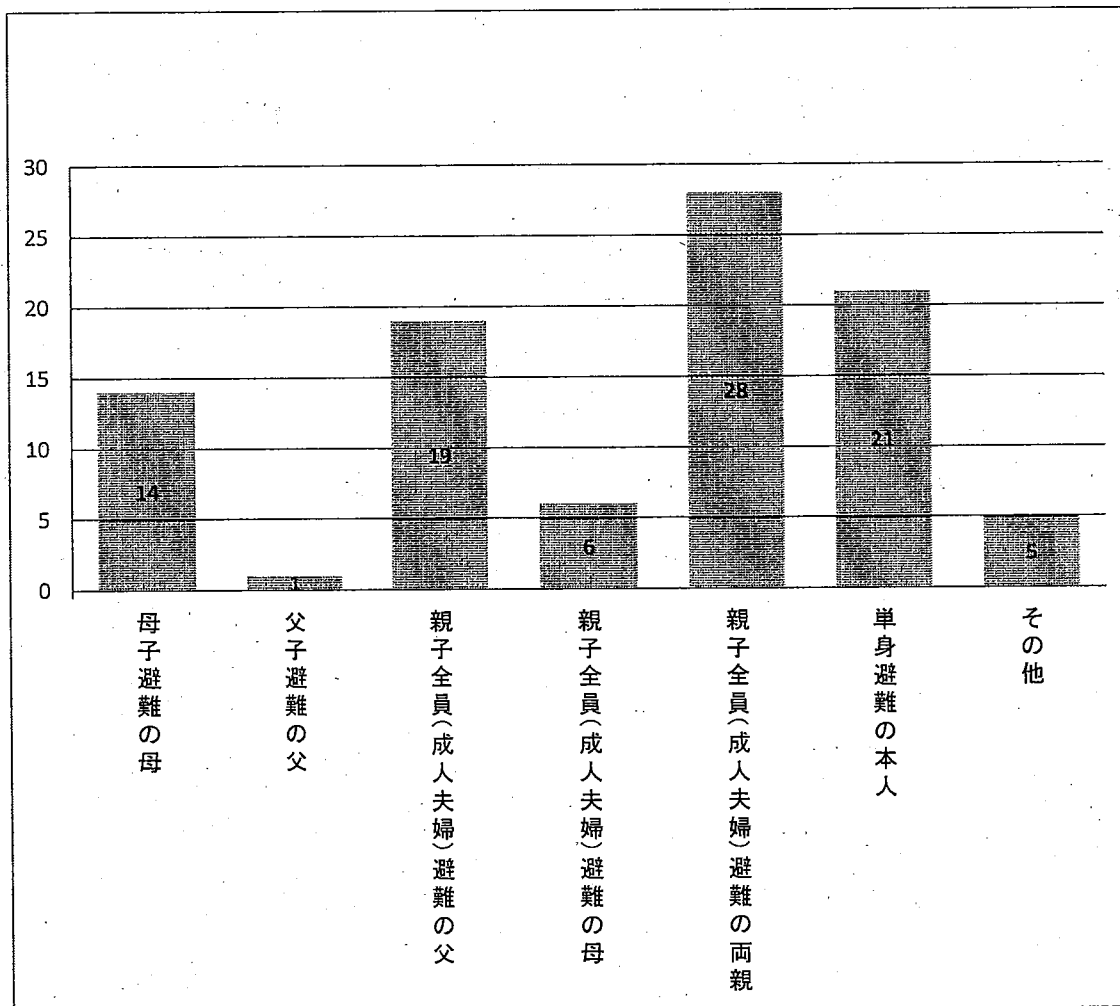
		内 訳				
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	広報・情報誌等の郵送	34	20.0%	4	6	24
②	各行政機関のホームページ	7	4.1%	0	1	6
③	サロン等の拠点施設	10	5.9%	0	3	7
④	マスメディアによる報道	47	27.6%	1	8	38
⑤	相談会・説明会	17	10.0%	1	4	12
⑥	その他	9	5.3%	1	2	6
合計		124		7	24	93

【16】避難しているご家族の就労状況をお答え願います。現在避難している方の中で秋田県内で就労している方はありますか。(Q10)



		内 訳				
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	いる	97	57.1%	3	23	71
②	いない	65	38.2%	3	14	48
③	無回答	8	4.7%	3	3	2
合計		170		9	40	121

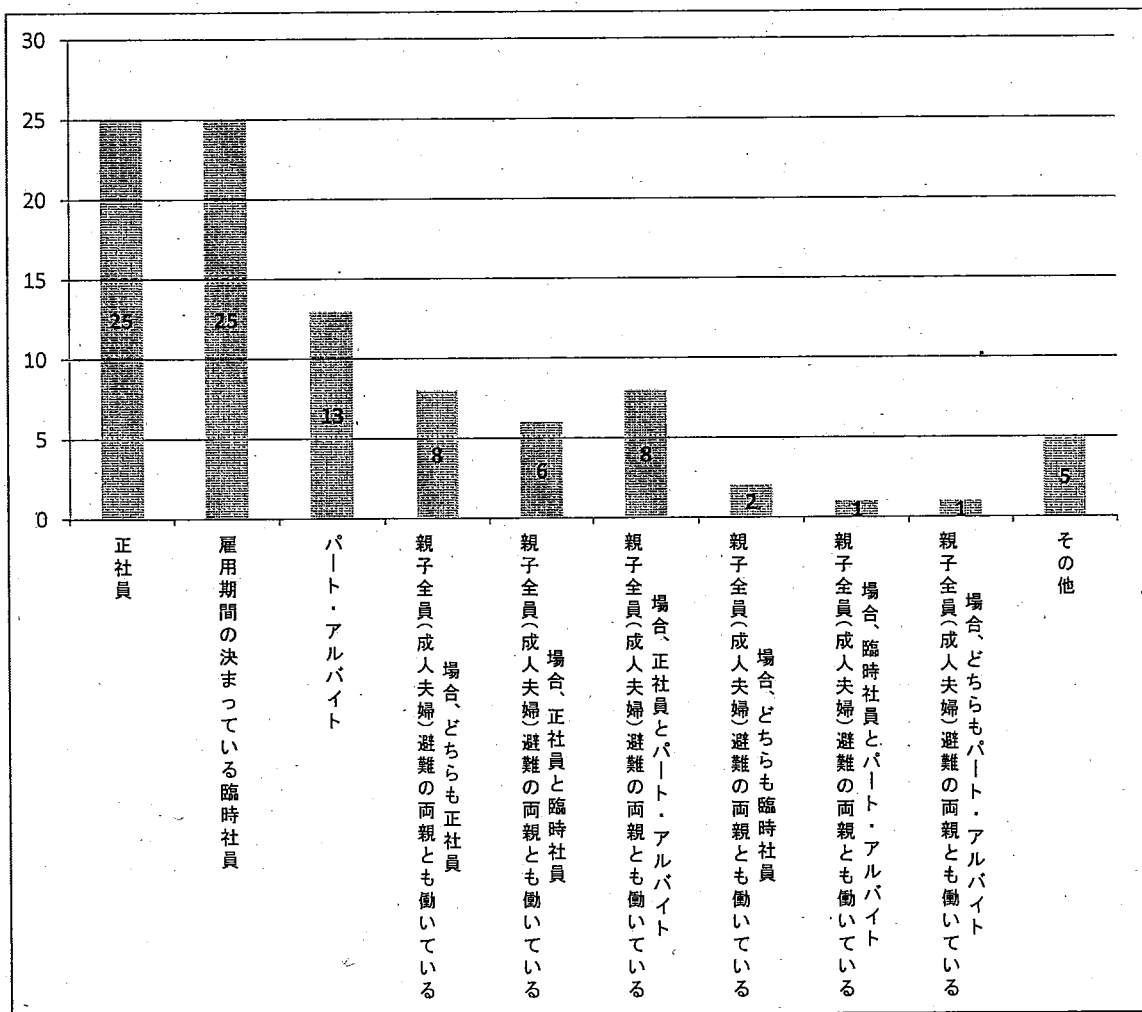
【17】 Q10で「いる」と答えた方にお聞きます。働いている方はどなたですか。
(Q10-1)



		内 訳				
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	母子避難の母	14	14.4%	0	1	13
②	父子避難の父	1	1.0%	0	0	1
③	親子全員(成人夫婦)避難の父	19	19.6%	2	7	10
④	親子全員(成人夫婦)避難の母	6	6.2%	0	1	5
⑤	親子全員(成人夫婦)避難の両親	28	28.9%	1	2	25
⑥	単身避難の本人	21	21.6%	0	9	12
⑦	その他	5	5.2%	0	3	2
合計		94		3	23	68

無回答: 3名

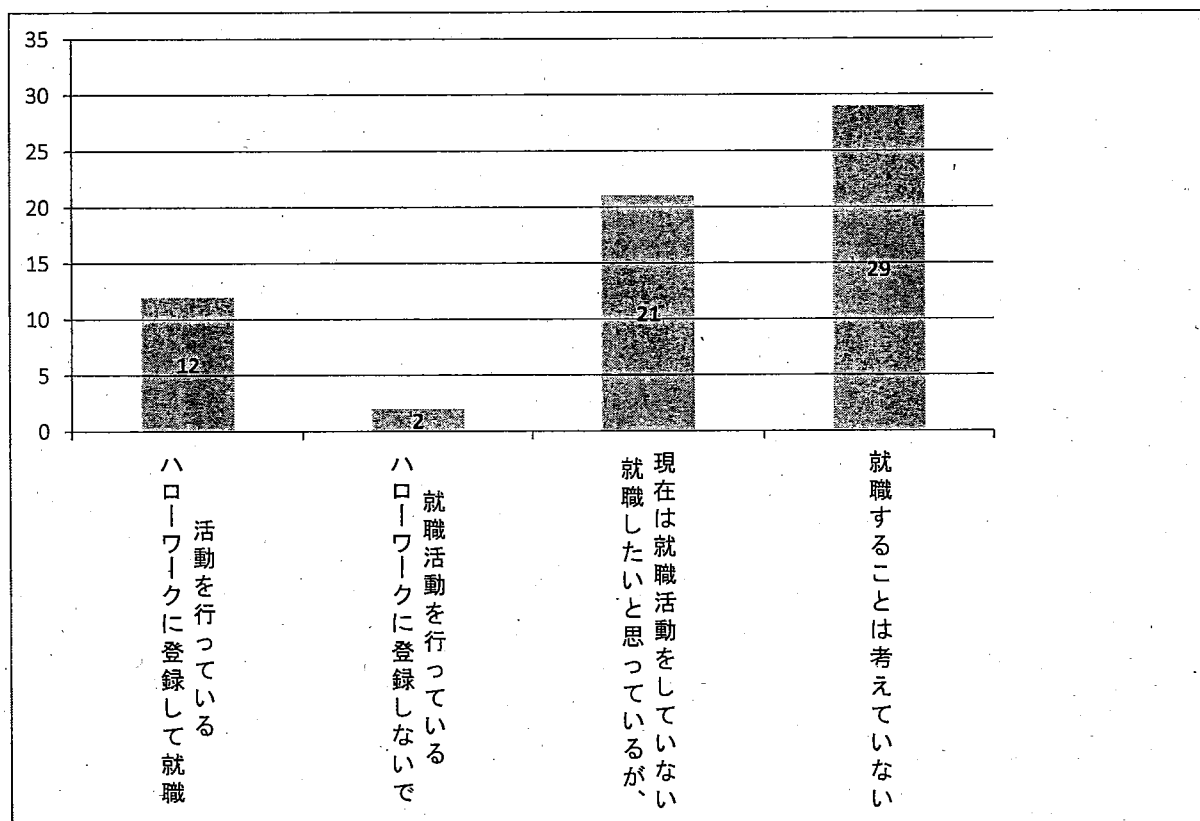
【18】「Q10」で「いる」と答えた方にお聞きます。働いている方の就労形態をお答え願います。(Q10-2)



		回答世帯	割合	内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	正社員	25	25.8%	1	10	14
②	雇用期間の決まっている臨時社員	25	25.8%	1	5	19
③	パート・アルバイト	13	13.4%	0	4	9
④	親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらも正社員	8	8.2%	0	1	7
⑤	親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、正社員と臨時社員	6	6.2%	0	0	6
⑥	親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、正社員とパート・アルバイト	8	8.2%	1	1	6
⑦	親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらも臨時社員	2	2.1%	0	0	2
⑧	親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、臨時社員とパート・アルバイト	1	1.0%	0	0	1
⑨	親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらもパート・アルバイト	1	1.0%	0	0	1
⑩	その他	5	5.2%	0	2	3
合計		94		3	23	68

無回答:3名

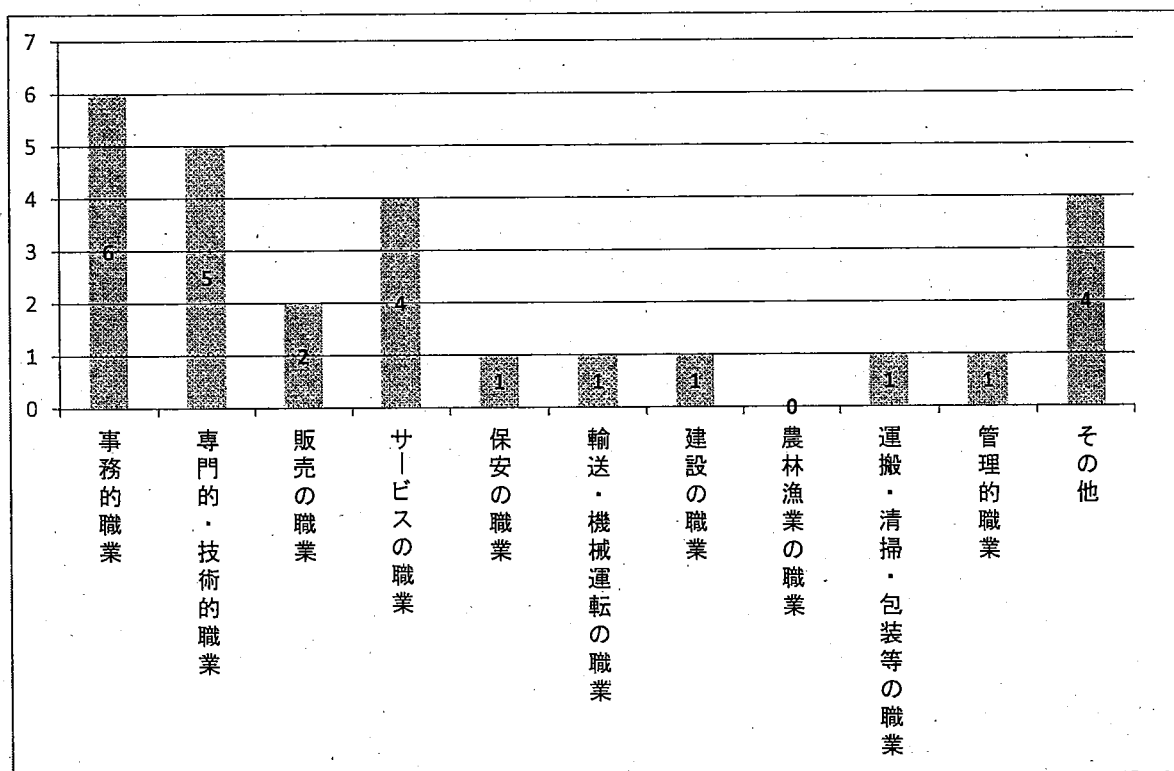
【19】 Q10で「いない」と答えた方にお聞きします。現在、就職をするためにハローワークへ登録など就職活動を行っていますか。(Q10-3)



		件数	割合	内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	ハローワークに登録して就職活動を行っている	12	18.5%	0	4	8
②	ハローワークに登録しないで就職活動を行っている	2	3.1%	0	0	2
③	就職したいと思っているが、現在は就職活動をしていない	21	32.3%	0	2	19
④	就職することは考えていない	29	44.6%	2	8	19
合計		64		2	14	48

無回答:1名

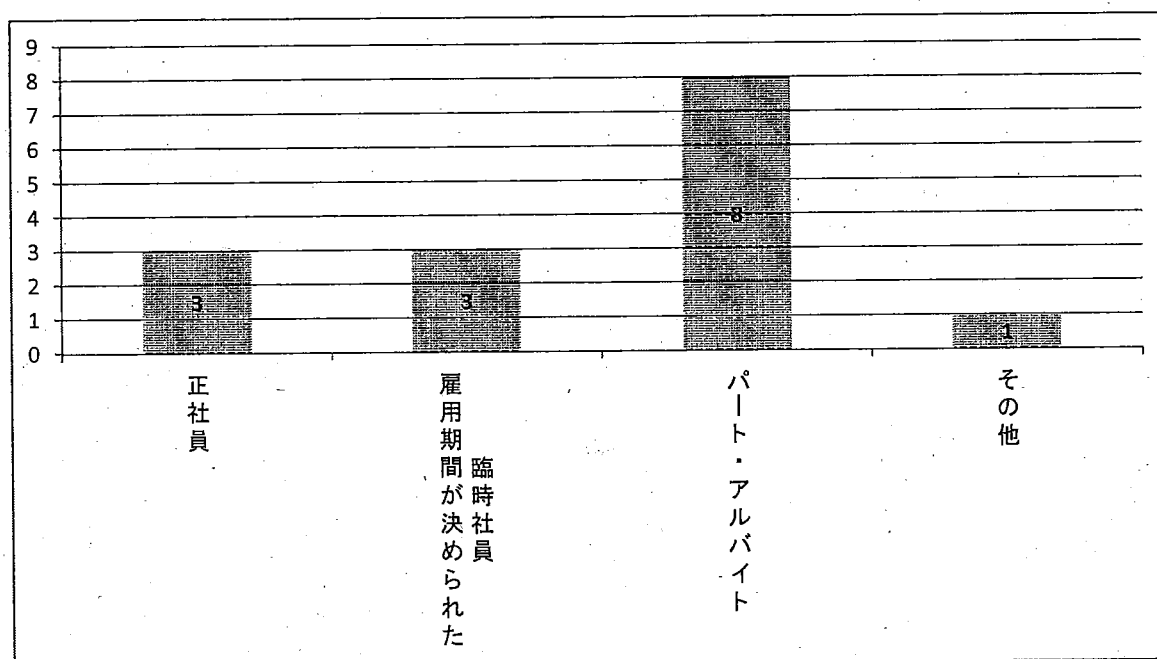
【20】Q10-3で、①又は②の「就職活動を行っている」と答えた方にお聞きします。どのような職種を希望していますか。(Q10-4)



		回答世帯	割合	内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	事務的職業	6	42.9%	0	0	6
②	専門的・技術的職業	5	35.7%	0	2	3
③	販売の職業	2	14.3%	0	0	2
④	サービスの職業	4	28.6%	0	3	1
⑤	保安の職業	1	7.1%	0	1	0
⑥	輸送・機械運転の職業	1	7.1%	0	0	1
⑦	建設の職業	1	7.1%	0	0	1
⑧	農林漁業の職業	0	0.0%	0	0	0
⑨	運搬・清掃・包装等の職業	1	7.1%	0	0	1
⑩	管理的職業	1	7.1%	0	0	1
⑪	その他	4	28.6%	0	1	3
	合計	26		0	7	19

※複数の職種を希望している方もいるため、Q10-3の合計数と一致せず。

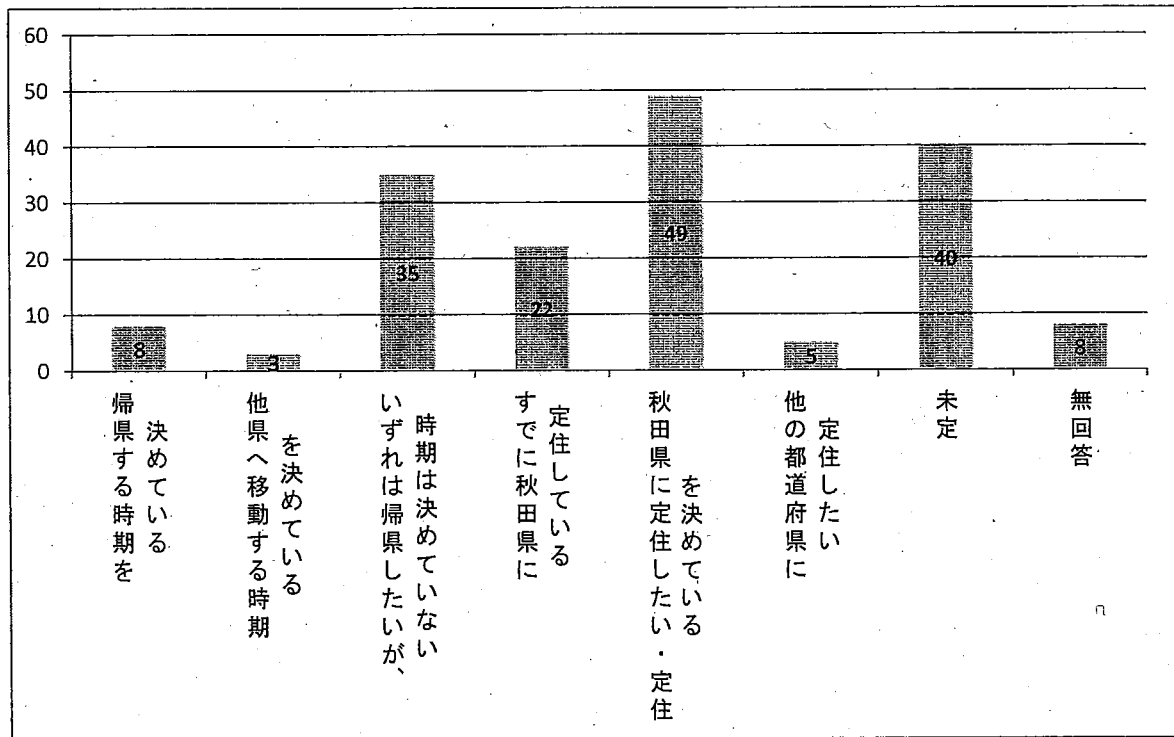
【21】Q10-3で、①又は②の「就職活動を行っている」と答えた方にお聞きします。どのような雇用形態を希望していますか。(Q10-5)



			内 訳			
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	正社員	3	21.4%	0	1	2
②	雇用期間が決められた臨時社員	3	21.4%	0	0	3
③	パート・アルバイト	8	57.1%	0	2	6
④	その他	1	7.1%	0	1	0
合計		15		0	4	11

※複数の雇用形態を希望している方もいるため、Q10-3の合計数と一致せず。

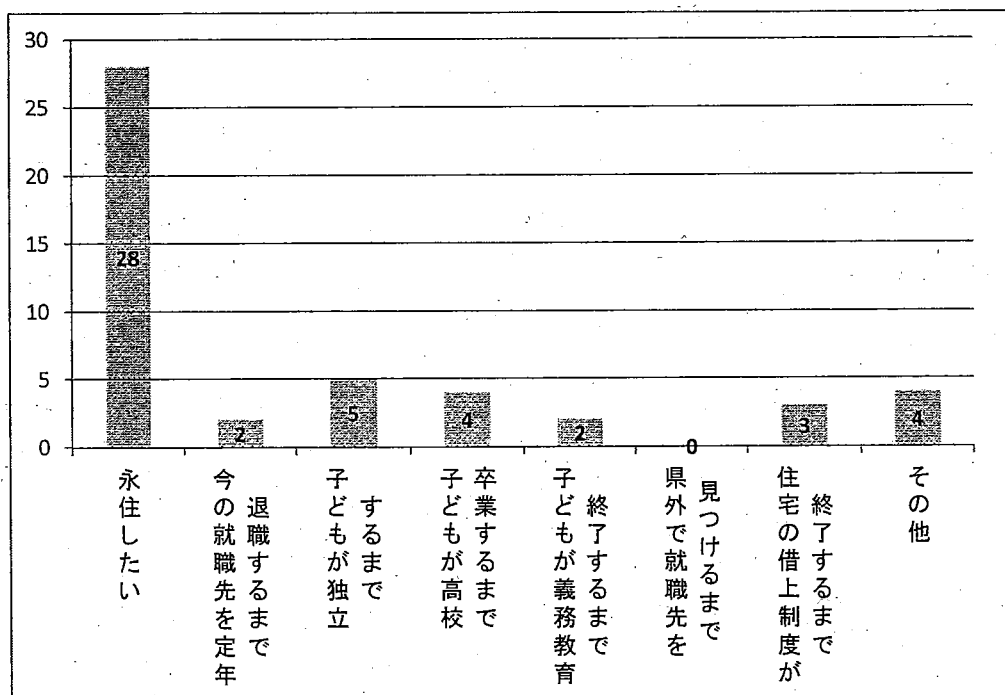
【22】今後の予定について、お願いします。(Q13)



			内 訳			
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	帰県する時期を決めている	8	4.7%	0	2	6
②	他県へ移動する時期を決めている	3	1.8%	0	0	3
③	いずれは帰県したいが、時期は決めていない	35	20.6%	1	8	26
④	すでに秋田県に定住している	22	12.9%	3	7	12
⑤	秋田県に定住したい・定住を決めている	49	28.8%	2	11	36
⑥	他の都道府県に定住したい	5	2.9%	0	1	4
⑦	未定	40	23.5%	1	10	29
⑧	無回答	8	4.7%	2	1	5
	合計	170		9	40	121

			内 訳		
		回答世帯	割合	子育て世帯	成人世帯
①	帰県する時期を決めている	8	4.7%	6	2
②	他県へ移動する時期を決めている	3	1.8%	3	0
③	いずれは帰県したいが、時期は決めていない	35	20.6%	23	12
④	すでに秋田県に定住している	22	12.9%	13	9
⑤	秋田県に定住したい・定住を決めている	49	28.8%	29	20
⑥	他の都道府県に定住したい	5	2.9%	5	0
⑦	未定	40	23.5%	26	14
⑧	無回答	8	4.7%	6	2
合計		170		111	59

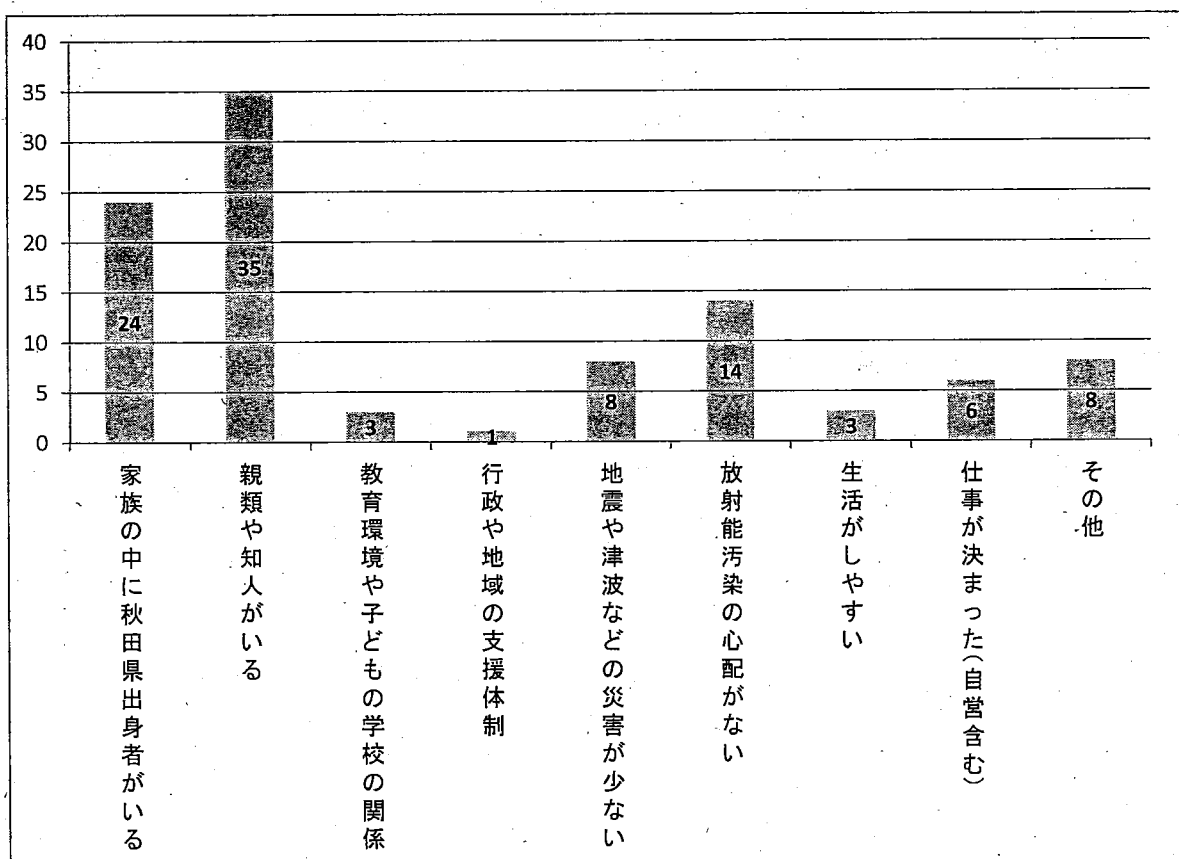
【23】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。どの程度の期間を想定していますか。(Q13-1)



				内 訳		
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	永住したい	28	57.1%	1	9	18
②	今の就職先を定年退職するまで	2	4.1%	0	1	1
③	子どもが独立するまで	5	10.2%	1	0	4
④	子どもが高校卒業するまで	4	8.2%	0	0	4
⑤	子どもが義務教育終了するまで	2	4.1%	0	0	2
⑥	県外で就職先を見つけるまで	0	0.0%	0	0	0
⑦	住宅の借上制度が終了するまで	3	6.1%	0	1	2
⑧	その他	4	8.2%	0	0	4
合計		48		2	11	35

無回答:1名

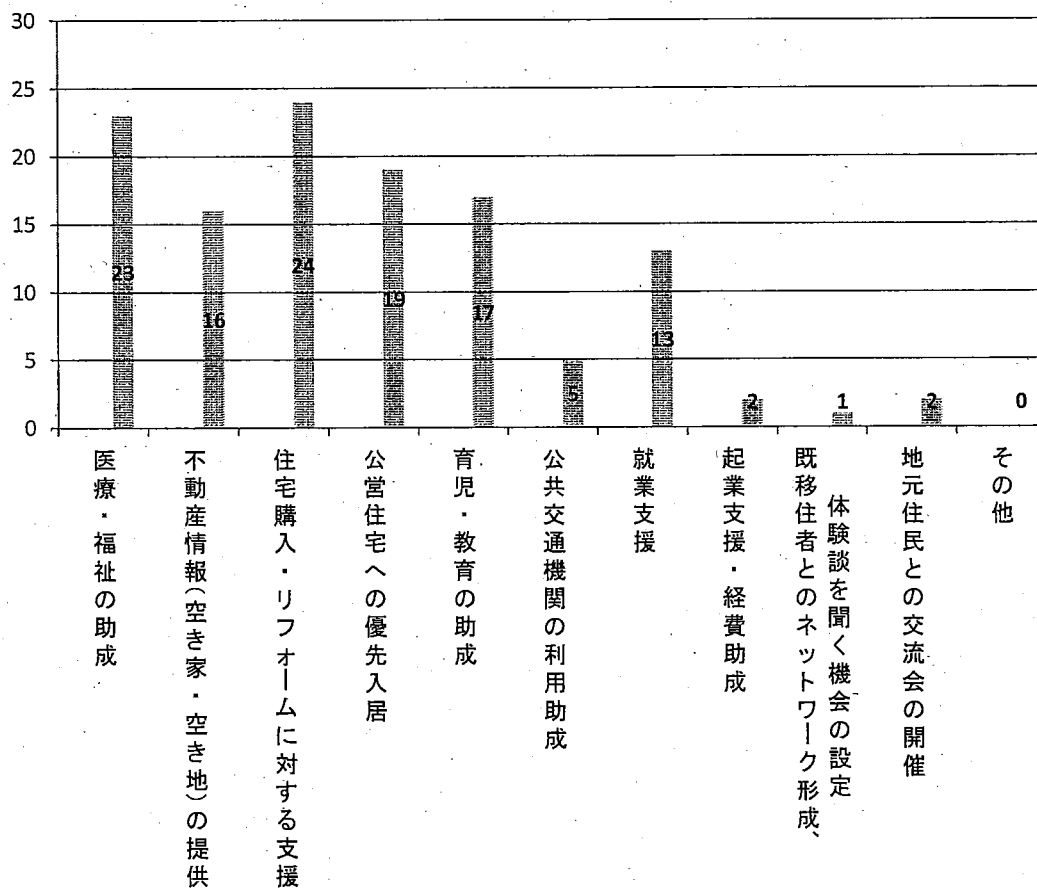
【24】「Q13」で「④すでに秋田県に定住している」「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。秋田県を定住先として決めた一番の理由をお答え願います。(Q13-2)



		回答世帯	割合	内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	家族の中に秋田県出身者がいる	24	33.8%	2	8	14
②	親類や知人がいる	35	49.3%	2	12	21
③	教育環境や子どもの学校の関係	3	4.2%	0	1	2
④	行政や地域の支援体制	1	1.4%	0	1	0
⑤	地震や津波などの災害が少ない	8	11.3%	0	3	5
⑥	放射能汚染の心配がない	14	19.7%	0	1	13
⑦	生活がしやすい	3	4.2%	0	2	1
⑧	仕事が決まった(自営含む)	6	8.5%	0	1	5
⑨	その他	8	11.3%	1	2	5
	合計	102		5	31	66

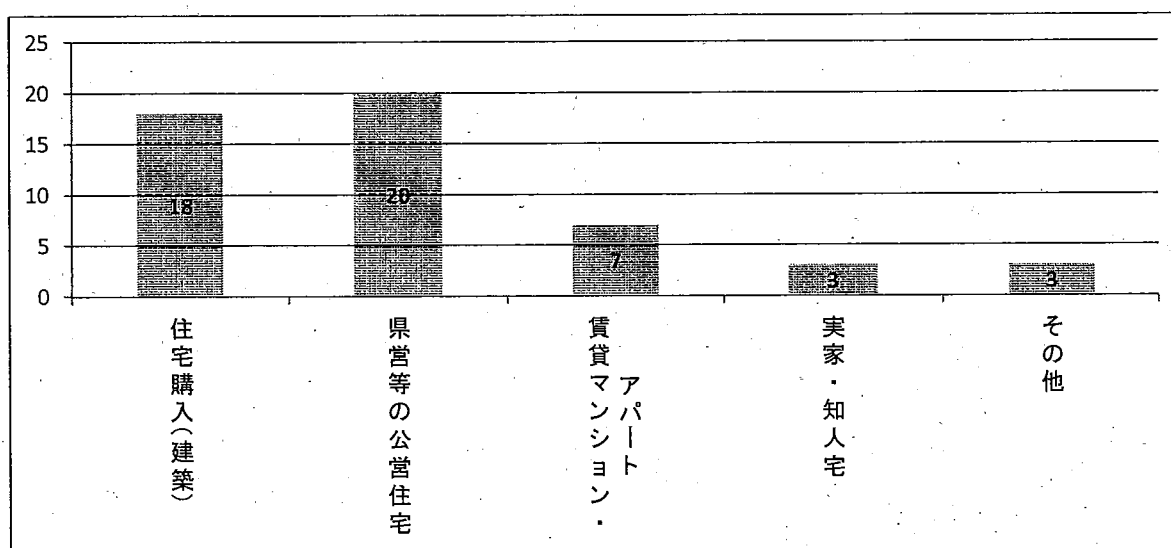
※複数の理由を回答した方もいるため、Q13の数と一致せず。

【25】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。定住を考えるにあたり、どのような支援を望むかお答え願います。(Q13-3:複数回答可)



			内 訳			
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	医療・福祉の助成	23	46.9%	1	4	18
②	不動産情報(空き家・空き地)の提供	16	32.7%	1	2	13
③	住宅購入・リフォームに対する支援	24	49.0%	0	4	20
④	公営住宅への優先入居	19	38.8%	1	8	10
⑤	育児・教育の助成	17	34.7%	1	2	14
⑥	公共交通機関の利用助成	5	10.2%	0	2	3
⑦	就業支援	13	26.5%	1	3	9
⑧	起業支援・経費助成	2	4.1%	0	2	0
⑨	既移住者とのネットワーク形成、 体験談を聞く機会の設定	1	2.0%	0	1	0
⑩	地元住民との交流会の開催	2	4.1%	0	2	0
⑪	その他	0	0.0%	0	0	0
	合計	122		5	30	87

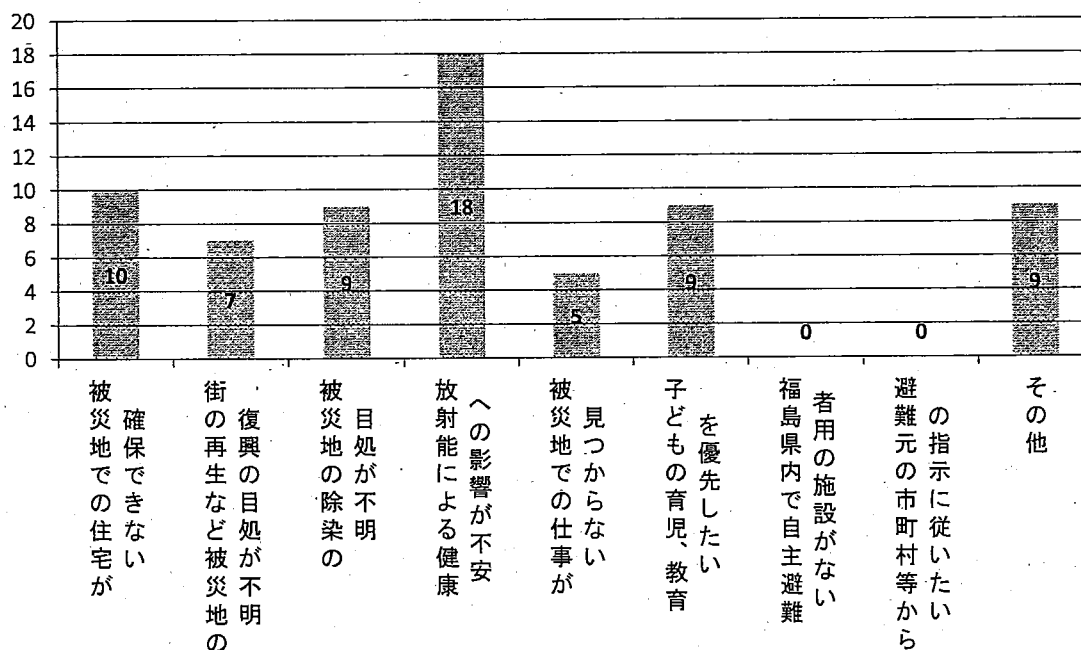
【26】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。秋田県への定住を考えるにあたり、住居としてどこを考えていますか。(Q13-4)



			内 訳		
	回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 住宅購入(建築)	18	36.7%	0	4	14
② 県営等の公営住宅	20	40.8%	1	7	12
③ 賃貸マンション・アパート	7	14.3%	0	2	5
④ 実家・知人宅	3	6.1%	1	0	2
⑤ その他	3	6.1%	0	0	3
合計	51		2	13	36

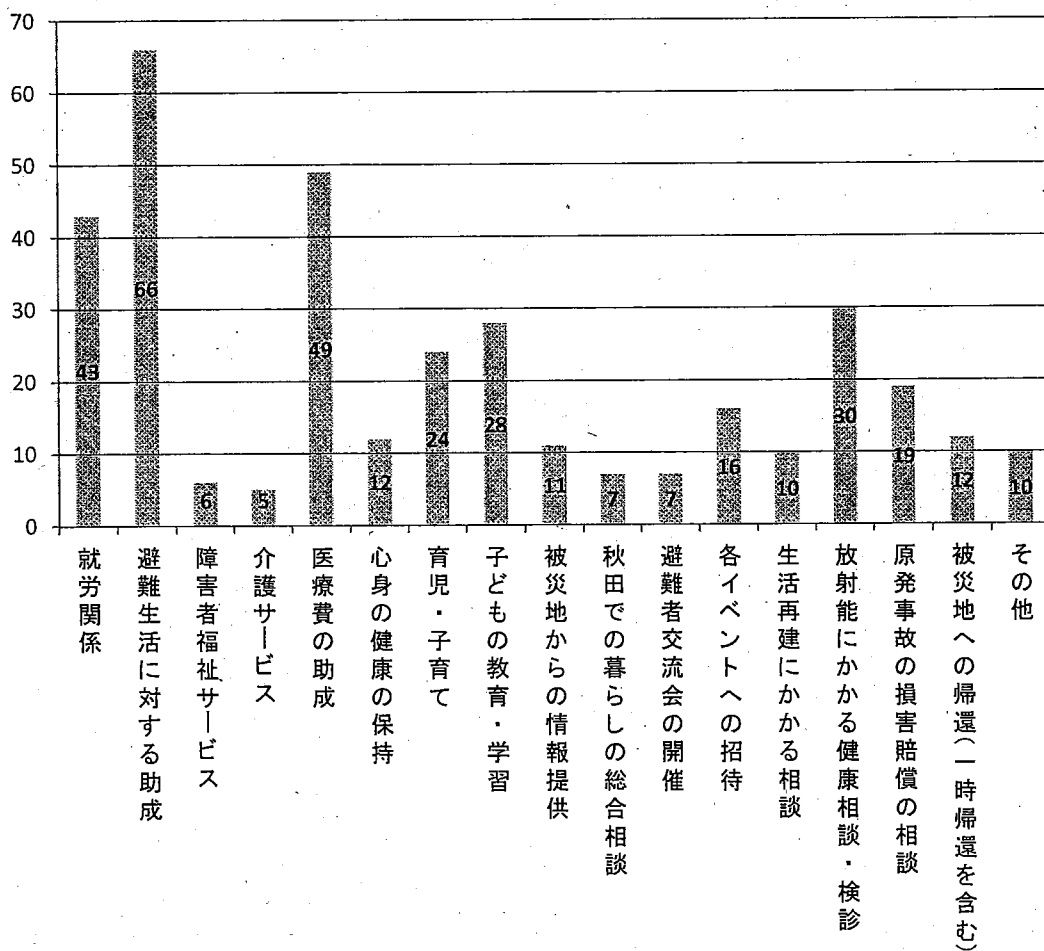
無回答者(5名)及び複数の希望を記入した方がいるため、Q13と一致せず。

【27】「Q13」で「③いずれは帰県したいが、時期を決めていない」方に伺います。
決められない主な理由をお願いします。(Q14:複数回答可)



			内 訳			
		回答世帯	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	被災地での住宅が確保できない	10	28.6%	1	4	5
②	街の再生など被災地の復興の目処が不明	7	20.0%	1	1	5
③	被災地の除染の目処が不明	9	25.7%	0	0	9
④	放射能による健康への影響が不安	18	51.4%	0	0	18
⑤	被災地での仕事が見つからない	5	14.3%	0	0	5
⑥	子どもの育児、教育を優先したい	9	25.7%	0	1	8
⑦	福島県内で自主避難者用の施設がない	0	0.0%	0	0	0
⑧	避難元の市町村等からの指示に従いたい	0	0.0%	0	0	0
⑨	その他	9	25.7%	0	4	5
	合計	67		2	10	55

【28】今、必要としている支援について、下の事項から4つ以内で選択してください。(Q15)



				内 訳		
				岩手県	宮城県	福島県
①	就労関係	43	25.3%	1	9	33
②	避難生活に対する助成	66	38.8%	2	11	53
③	障害者福祉サービス	6	3.5%	2	3	1
④	介護サービス	5	2.9%	2	3	0
⑤	医療費の助成	49	28.8%	3	11	35
⑥	心身の健康の保持	12	7.1%	2	4	6
⑦	育児・子育て	24	14.1%	1	4	19
⑧	子どもの教育・学習	28	16.5%	1	3	24
⑨	被災地からの情報提供	11	6.5%	0	3	8
⑩	秋田での暮らしの総合相談	7	4.1%	1	4	2
⑪	避難者交流会の開催	7	4.1%	0	3	4
⑫	各イベントへの招待	16	9.4%	2	2	12
⑬	生活再建にかかる相談	10	5.9%	1	4	5
⑭	放射能にかかる健康相談・検診	30	17.6%	0	2	28
⑮	原発事故の損害賠償の相談	19	11.2%	0	1	18
⑯	被災地への帰還（一時帰還を含む）	12	7.1%	0	2	10
⑰	その他	10	5.9%	0	2	8
	合計	355		18	71	266

				内 訳	
				子育て世帯	成人世帯
①	就労関係	43	25.3%	33	10
②	避難生活に対する助成	66	38.8%	48	18
③	障害者福祉サービス	6	3.5%	2	4
④	介護サービス	5	2.9%	1	4
⑤	医療費の助成	49	28.8%	37	12
⑥	心身の健康の保持	12	7.1%	5	7
⑦	育児・子育て	24	14.1%	23	1
⑧	子どもの教育・学習	28	16.5%	27	1
⑨	被災地からの情報提供	11	6.5%	5	6
⑩	秋田での暮らしの総合相談	7	4.1%	3	4
⑪	避難者交流会の開催	7	4.1%	4	3
⑫	リフレッシュ事業への招待	16	9.4%	7	9
⑬	生活再建にかかる相談	10	5.9%	3	7
⑭	放射能にかかる健康相談・検診	30	17.6%	24	6
⑮	原発事故の損害賠償の相談	19	11.2%	15	4
⑯	被災地への帰還（一時帰還を含む）	12	7.1%	6	6
⑰	その他	10	5.9%	7	3
	合計	355		250	105

Ⅲ 自由記述：主なもの

【１】避難先の自治体に対する要望

被災県	Q16 避難先の自治体に対する要望
岩手県	・特にありません。 ・ようやく以前と同じぐらいの生活ができるようになってきたところ です。(精神的な面でも)もうすぐ、借上住宅の補助も終了となると不安な面もあります。 ・借上住宅の入居期間が終了した時、今後どうしたらいいのか。
	・秋田に引っ越してきてからストレスからくるものか、アトピー性皮膚炎がひどくなったり、ガゼもひきやすくなったり、なにかと医療費がかかります。(中1女子なので、4/1から医療費が3割負担になりました) ・住宅支援だけは、5年欲しいと思います。被災地の住宅もできるだけ帰くようにお願いしたいです。その他は感謝のみです。 ・いつもお世話になっております。各種イベントなどのおたよりありがとうございます。老人ホームに入居しておりますのでイベント等参加できませんが、おたよりは楽しく読んでいます。仙台市の住居にはすぐに帰って生活できるようになっていますが、車いす生活で独り暮らしに不安があり、娘のいる能代にとどまっている状態です。 ・就労に関して、ハローワークを通して就職(正社員)したが、掲載事実と異なっていた。他県も同じだと思いましたが、安定した生活を送るにはちよっと苦しい。(賃金、労働時間、早朝・残業代の問題について)体を壊しかねない。(拘束時間、休憩について) ・県や市にはたくさん良くていていただき大変感謝しています。ありがとうございます。 ・一番は住居に関するものです。借上住宅の期間満了後は民間の賃貸住宅か中古住宅の購入かのどちらかと考えていますが、どちらにしても大家さん又は金融機関の方に信用・納得してもらえない。仕事は派遣とアルバイトのワークなのでこのままの状態では次の住居が見つかるか気がかりです。またそれに関する支援があるととても助かります。
宮城県	・月に1回は、家族の元へ帰る為の交通費の援助があると大変助かる。 ・子供が、被災し、津波をかぶり、恐怖感を憶えているが、授業の中で心無い言葉(先生方)気になっている事がある。先生方に対する、指示・指導を希望する。 ・何年先になるかわかりませんが、宮城に帰りたいと思いたい住所もそのままで。秋田県では何のメリットもない老人の私を3年間お世話くださり本当にありがたく思っております。これからはもうよくお願い致します。 ・医療に関わる件で、受診の際の選択で戸惑います。仙台ではガイドブックで診療内容や対象者等の案内があり参考にしておりました。 ・特になし、満足している。 ・感謝しております。要望は特にはないです。震災以来、さまざまな支援、本当にありがとうございます。子どもの高校進学への受験生をかかえる母親としては、震災より、子どもの教育面、精神面、健康面を考え、主人に相談し、お願いしながら秋田県への定住をしてきました。私自身は、実家の親や、地域の親や、地域の方々に声をかけてもらい、生活しております。夫婦間でも意見も違ふこともあり、また、主人の親の方々に支援が得られておらず、私自身の母親に、全面的にバックアップしてもらっているのが現状です。震災という災害により、家族間の問題や課題が表面化し、クリアしていくことが必要です。 ・県、市には感謝しております。秋田市民になりましたので、老人福祉のサービスを受けようになりました。これからは地域に協力し、恩返しをしようと思っています。 ・オラの住む鹿角市には被災者支援が無く、市役所は「被災者でも特別扱いはいらない」と言っている。秋田市も「鹿角には口出しできない」と言っている。なじよする？ ・雪の苦痛が一番の問題になっている。 ・秋田県やにかほ市の皆さんには大変お世話になり感謝しています。秋田に来て3年が過ぎ、宮城と秋田の二重生活で生活費がかなりのかかり増しになっています。おまけに天気の悪い日の高校までの送迎、休みの日の部活動の練習などの送迎、(潟上市、横手市、酒田市など)現地集合、現地解散のため)を一人でこなし、一日一日の生活が精一杯で先の事を考える余裕がありません。 ・福島県いわき市へ墓参り、夏休み、正月等に帰るときどうしても小さな車ではムリです。JR等の割引をお願いしたい。 ・来年の3月末には県の借上民間賃貸住宅が解除になると今より生活が大変になるため、子供が高校卒業するまで延期して欲しいです。 ・県、市営住宅に入居できるようにして欲しい。

被災県	Q16 避難先の自治体に対する要望
	・いつもお世話になっております。 ・借上住宅の期間を延長して下さるとありがたいです。 ・南相馬市で生活している子供達を一定期間招待するサマーキャンプのようなものを催して欲しい。 ・地域の方や会社の方にはとてもよくしていただいています。一つ気になることは、天候が太平洋側と大きく異なることです。暑すぎたり、曇っていたり、雪に長くどざされたりということが不便に思います。 ・避難者の交流会が秋田市と違ってすごく少ない。大館市でも秋田市くらい開催してくれると助かる。 ・借上民間賃貸住宅の延長。 ・秋田県に対して、人口減少が進む本県で、現在住んでいる避難者をそのまま定住へつなげる政策を行ってください。子育て世代も多く、「借り上げ終了とともに帰還」ではもったいないような気がします。 ・子供が障害者手帳の申込をしましたが、秋田県は一番初めに受診した時のカルテを持参せよとの答え。秋田県の医師会は何をどの様に把握し状況異極めをもって初診時カルテを持って来いとの理由がわかりません。本人は大変な心痛の中、あらゆるコンタクトを取り福島へ何度か通いましたが現在何も出来ない形のままです。秋田県の対応に怒りのみです。平成に入り農業基本法が改正されふると名のつく地は急激に変わってしまいいまそのふるとも追われ家族という小さな幸せさえ壊された今、国は又は県はどの様に考えているのでしょうか。夫婦円満の形がバラバラになり日本の未来は本県の絆が持てるのでしょうか！！必要でない物や人の命に対して処分する事だけを先行していると思います。この世に生を受けた限り、一人一人必ず役割があると思います。被災県だけに限らず一人一人が云い伝えに行かなければ心から思います。秋田へ避難されても全部自分自身で賄っている方は氣にもとめてもらえず大変だと思います。 ・借上制度によるアパートの契約が来年3月までとなっていますが、自宅周辺の除染等がすすんでおらず、まだ帰れる状況ではありませんが、経済的にアパートの契約期間終了後は帰るしかないのです、なんとか期間をのばして欲しいです。
福島県	・いつもご心配をいただきます大変感謝を致しております。避難中に父も亡くなり、一時的に母親も心労も心労から体調を崩したときに秋田県の被災者受入支援室の皆さまには、本当にお世話になりました。避難も4年目に入りますと生活環境も変わり、待つより進めという思いで現在に至っております。今後共、よろしくお願い致します。 ・借上住宅の支援が打ち切れなくなってしまうと生活していきづらくなってしまいます。貯金などですでに使ってしまいがちで、秋田にいたい気持ちが大きいです。他に何も希望はしないので、どうか住宅支援だけは延長して頂きたいです。どうかどうかよろしく願います。 ・うちのリハビリ中です。勤務先は市町村役場。今の職場で理解してもらえない長期療養していましたが、復職しました。期間雇用のため、いずれ離職するのではと不安ではありますが、どうかこのまま雇用していただけると、とても助かります。今の仕事がなくなれば、秋田には住めないなと思っています。 ・今住んでいる住宅には駐車スペースが無く隣の駐車場の借りているのですが、私と二人ほどで借りているのですが冬場除雪車が来ていたのは嬉しいのですが駐車の入口の積まれた雪を取り除くには半日かかります。私はまだ七十四才ですが十年前に脳梗塞を患い現在循環器科と整形外科に通っていて大変です。この雪の少ない由利本荘で難儀している様では秋田に永住するのは無理かな。 ・何をしていたかにも県や市町村の税金を投入してもらおうのは、とても心苦しいのですが、子供達の未来のためにも住居と医療費、仕事が必要だと思います。今は給食費無料なのがすごく助かっています。 ・今借りている借上住宅を延長して欲しい。除染も完了していない所に帰るのは不安も強く避難した意味もなくなってしまう。あと、3年(H29.3月まで)は延長して欲しい。 ・とにかく放射能が怖い、心配なので秋田県産の農産物も定期的に検査し、厳しく公表して欲しい。県境の山菜等、数値が心配。実際に出ているものがあります。公表することが安心につながります。いつまでも安心して居住できる秋田県であって欲しい。 ・現在の住宅、無料措置をH27.4月以降もあと2～3年継続して欲しい。

被災県	Q16 避難先の自治体に対する要望
福島県	・自主避難者に対する支援をお願いしたいです。交流会やイベントなど、今年は回数もめっきり減りました。もし、その分の予算が余るのであれば、こちらで生活している世帯全員に何らかの支援物資を配布していただくと(例えばお米など)できないのでしょうか？みなさん貯金をやりくりしてやっと生活していると思うのですが。
	・昨年度、年末に福島に帰省する折に、バスを利用させていただきまして、とても助かりました。今年度もまた同じような支援があると大変助かります。
	・前回アンケートで答えましたが、なかなか先が見えないので借上住宅の延長をお願いします。
	・永住していく事が出来たらいいのは福島を引き上げて家族が秋田に来ることはできないのかと相談(家族内で)しています。それが決定ではなくとも子どもも高校卒業するまででもいれたらと願って過っています。借上制度が少しでも長く続いてくれればと願っているから借上制度終了するなという希望もあります。秋田ではパートをしておりますが、小さな起業的な事や農業をどちらか兼ねて生活する事はできないのかという事も相談できたらと思っています。
	・福島秋田への交通機関利用は長く続きそうなので助成や便利化があれば有難く思っています。
	・秋田県にはお世話になっております。感謝しています。今後の避難生活で、借上住宅はH27.3月で終了ですが、なんとか延長していただきたいです。住み替えも(別のアパートへ)どうかできるようにお願いしたいです。子供も大きくなったので、上限月額6万ならそれ以上は自分たちで負担するという形でも考えて欲しいです。戻るか戻らないかは住宅にかかっています。早めの決定をお願いします!!
	・ベットと共に避難してきていますが、ベットOKの住宅を探してもなかなかない。あつたとしても金額が高くて今現在の状態での転居はなかなか難しい。もっと物件とそれに対しての助成があれば良いのですが…。家族5人で2LDKは狭いです。
	・秋田県への永住を希望しているが、住宅について新築、中古ともに就労期間や収入の問題でとても難しい状態にあります。そのための支援助成が必要です。
	・就職活動でまだ秋田に残るか福島に戻るか決めてませんが、福島に戻る時は面接などで頻繁に返らなくてはならないので金銭的な援助があればいいと思います。
	・秋田に来て3年、子ども達も秋田の生活に慣れ、穏やかに毎日を過ごせています。それもこれも秋田の方々の支援があるからと感謝しています。願わくばこの穏やかな日々が続きますよう、これからは温かく支援していただけたらと思います。これ以上の転居や転校は落ち着いた子ども達にまた混乱を招きます。慣れ親しんだ近所の方々や友人達と再び引き離れることのないよう、どうか借上住宅の延長をお願いします。
福島県	・借上住宅終了した時の支援があれば嬉しい。公営住宅情報。
	・原発の再開には反対。放射線管理区域ぐらい高い放射線の所に人を住まわせているのはなぜか？
	・特になし。※今現在県の職員さんが親切に対応してくれている。
	・転勤族だったので、住居が変わっても人間関係ならなんとかできますが、住宅支援がいくら切れると考えるとできません。県営、市営住宅に申し込みたいと考えていますが独身の住宅の募集が見当たらず、かといって給料は上がるわけでもないのので今後の住居をどのようにしたらいいのが、今は不明です。確かにご家族で暮らす方が優先であることも理解できますし、冬期間の雪を考えるとなかなか判断できずにいます。
	・借上住宅の措置を延長して欲しい。借上住宅の借り替えを認めて欲しい。
	・県の借上民間賃貸住宅は、期限が2年など、3年などその都度延長されているが、住む家の期限を毎年のように心配していて、安心感が持てない。いつ退去しなければならない
	・居住して3年がたち、秋田の自然や教育にとても満足しています。(親子共々)それと同時に共働きをしても、まかないきれない生活費に対しての不安があります。(灯油代、ガス代が特にかなり増し)今は借上住宅によってギリギリの生活を送っていますが、終了後にどうなるのか？と考える日々が多くなっておりまして。どうか借上住宅の延長や医療費負担の軽減を継続していただきたいと思っています。
	・他人事とは思っていないのをやめて欲しい。でも所詮他人事です。被災者にしかこの気持ち分らないです。仕事ですが臨時の期間をもっと長くして欲しい。(5年とか6年とか…)
	・秋田県は少子化が進み、今後の行政の大きな課題となっています。そこに定住しようと思っています。住宅助成があると、嬉しい。我が家は子ども3人です。
	・温かい支援ありがとうございます。これからもどうぞご支援ください。

被災県	Q16 避難先の自治体に対する要望
	・秋田に定住を決め、離婚に向けて動いているところですが、離婚できたら借上住宅から出なければと思っておりますが、その際なるべく家賃の低い所へ引越したいと考えております。ずうずうしいお願いとは思いますが、その際に相談ののっていただけたら大変有難いと存じます。 ・とても、いろいろな支援をしてくださっていると思います。 ・県や市町村には小学生の就学援助費を捻出しているに感謝しております。この場を借りてお礼を述べたいです。できましたら避難者の医療費の助成をお願いしたいです。健康で過ごせたら、前を向いて歩き出せる方がたくさんいると思います。どうぞよろしくお願い致します。 ・自主的な避難で来た私達を受け入れてくださり心から感謝しております。 ・借上住宅の利用できる期間を延長して欲しい。 ・似たようなアンケートが色々な機関から届くのと同じような回答をするのが面倒。それぞれの機関で情報を共有することはできないのでしょうか？ そんなに短期間で生活状況が変化することはないので何度も何度もアンケートに答えるよりも支援員の方などときちんと話をし、長期的な考えを伝えた方がよいのでは？とも思います。 ・戸別の訪問をしていただき、支援相談員の方にはとても有り難く感謝しております。ただ、相談員の方ともやっと慣れていろいろと相談しやすくなってきた頃に、相談員の方の担当が変わってしまうのが残念です。月1回の訪問を楽しみにしております！これからどうぞよろしくお願い致します。 ・子供の医療費が(南相馬市)無料に18才まではなっていますが、用紙を一度ももらって、かかった医療費を立て替えて出さなければなりません、なかなか用紙をもらいに行けずまだ一度も出していません。持病があり毎月の医療費が大変です。どこでも用紙がもらえらると思っておりますが、少しわがままだと思っています。 ・市の臨時職員として働かせてもらっているが、あまりに賃金が安い。秋田の物価は高い。 ・秋田県の方々には、いつも大変お世話になり、大変良くしていただいております。本当にありがとうございます。 ・避難以来、多くの皆様方によくしていただきままで来ることができました。本当にありがとうございます。 ・借上住宅の延長を希望したい。アパート代を払ってまでは、避難の継続は難しい。子どもの学校を一番に考えているので、現在は「いつ帰県など…」考えられないでいる。(福島ではいまだに普通とは思えないので) ・度重なる引越により(費用は預金を取り崩しています)経済的・精神的にきついです。借上住宅終了時には、間を置かず公営住宅に入居できる様にしたいだけあればありがたいです。 ・勤務先へは交通手当が無いため、歩いて通勤しています。新しい入居先も現在の所在地に近い所を希望します。 ・現在雇用促進住宅にありますが、H33年に廃止予定の為。 ・借上民間賃貸住宅の入居期間を延長していただきたいです。 ・障害福祉サービスで息子のことを受け入れてくれる施設が多数有る中で1つしかなかった。少なからず同じ障害をもつ子供がいるので秋田県全域から集まってくる学校付近に市町村関係なく受け入れてくれる施設があればとても助かります。(ショートステイ、放課後デイ) ・北秋田市内にも避難者交流センター又は避難者交流サロンを開催してください。 ・長期に渡っての手厚いご支援、本当にありがとうございます。就学援助制度について、避難者も対象にしていだいて、大変ありがたいと思います。
福島県	

【２】国に対する要望

被災県	Q17 国に対する要望
岩手県	・借上住宅の延長を希望します。税金(所得税、住民税)、医療費の免除、既に負担が多いです。
	・県の借上住宅の期間を延長して欲しい。
	・大規模半壊でも避難が数日早かったために復興住宅入居の資格がないと判断(自主避難)。同じ入居者なのに、残念でした。
	・被災した方々の暮らしが少しでも早く安定・安心した生活に戻るようにお願い致します。(雇用・医療・介護福祉・税金・保育施設の改善)
	・公平(かたよりがなく)で正確な情報の提供(しかも時間をおかず)と減税。※もちろん、我々国民の側のわがままな要望もよくないと思いますが。
宮城県	・津波や地震により家をすべて失い、避難を余儀なくされている人々に対する支援や助成をもう少し考えていただきたい。
	・原発で避難されている方や自主避難されている福島県の人々には東電や国が保障等を考えているようですが、宮城県は医療費の助成を早く停止したのもう少し助成して頂きたい。
	・一過性の援助、義援金のみではなく、時間経過に伴う、出費に対する金銭面のサポートがあると助かる。
	・うそ、いつわりのない情報の提供。
	・県外への自主避難者に対する健康被害、生活の補償なども含め考えて欲しい。
	・被災地にて復興の為に頑張っている若者達が、この先安心して暮らせる様な支援を行って欲しい。オリンピックの前にすべきことはないのでしょうか？
	・女川原発の廃炉を願っている。(できれば全ての原発をやめて欲しい)
	・借上住宅の延長をお願いしたい。
	・交通機関の割引サービスを再度検討してもらいたい。
	・自主避難にも生活支援してください。
	・来年の3月末には県の借上民間賃貸住宅が解除になると今より生活が大変になるため、子供が高校卒業するまで延期して欲しいです。
	・原発(放射能、被ばく)に対して、正確な情報を伝えて欲しい。
	・借上民間賃貸住宅の延長。
	・福島県内での子育てに対して、不安を感じる間は、避難生活を続けさせて欲しい。つまり、借上住宅の延長をお願いします。
	・賠償指針とはいえ、東電の横暴な態度、許せません。どうして加害者優位に話が進むのでしょうか。この苦しみは生涯消えない傷となって、ずっと私達を苦しめます。もっと被害者の気持ちを汲んでももらいたいです。
福島県	・年20ミリシーベルトの撤回、原発子ども・被災者支援法の基本理念を曲げずに、せめて対象区域の人間全てに避難移住の権利を！！自主避難者の早期救済を！！福島原発事故の本当の終息を！！作業員の皆さんに手厚い保障を！！そして真実を！！借上住宅の延長をしてください。もしくは県外に復興住宅を建ててください。もう待てません！！
	・国はもっと避難している人の事、考えて欲しい。
	・南相馬市(緊急時避難準備区域)東京電力から賠償を終了させましたが、病院関係も店も原発事故前と違い、未だに変わりません。インフラ関係もすべて原発事故前と変わらないうらい回復してから終了すべきです。国という最低な勝手な打ち切りは避難者を見殺しにしている。福島にあった原発は私連地元の人間が使用する物でなかったのに。
	・あと何十年も生きる訳でもないのにせめて今後はきれいな土地で過ごしたいと思っています。悲しいけどふる里には帰らないと決めました。土地、家は出来れば買取ってもらいたい。国の政策として行った電力政策です。最後まで責任を取ってもらいたい。
	・自分で避難する、残る(福島に)を自由にできるようにして欲しい。そして、それに対する、支援が必要だと思っています。国民を健康、基本的人権を守って欲しい。税金を払う人が、少なくなれば、国を保つのも厳しくなっていくと思います。
	・今借りている借上住宅を延長して欲しい。除染も完了していない所に帰るのは不安も強く避難した意味もなくなってしまう。あと、3年(H29.3月まで)は延長して欲しい。

被災県	Q17 国に対する要望
福島県	・心配です。 ・県外での甲狀腺自費検診で、昨年は異常がなかったのに、今年のう胞が見つかったという子供が数人出た話を聞きました。これから更に増えてくるのではないですか？因果関係はないでは済まないと思います。福島市も郡山市も、本当に住んでいて大丈夫なんですか？住宅の借上期間も、平成27年3月で終了だし。 ・13号国道、秋田～山形県境の改良を早急に進めて欲しい。(冬場の通行に困っています) ・東電、汚染水対策にもっと指導力を発揮して欲しい。 ・被災地浪江の自宅を国が買って欲しい。 ・子供たちの体調がよくない(検査済みで異常有り)ので、福島県にはまだ帰れません。もうしばらくはこちからで生活したいのですが、借上住宅の補助がないと生活できません。なんとか自主避難者向けの支援をお願いしたいです。 ・原発を使わない電力供給を考えて欲しい。 ・借上住宅制度を現状のまま延長していただきたいです。 ・単身の自主的避難者にも高速道路料金の支援をしていただきたいです。 ・いわき市に避難者が集中している様子。県外避難者がいわき市へ戻っても、就労難になるのが明らか。又、指定避難区域も解除しているようであるが、安全面での具体的裏付けが見えない。長期的な再建方法について避難者、地元市民との対話が必要と思う。先送り行政では解決しない。 ・安全だ安全だと共に原発といっしょに暮らしてきて、事故が起きて、家も田も畑全部駄目になり、この先どうしていいか、先が見えなくなり、又、年も取り、こういう事故にもあい、くやしくてくやしくて残念です。又、住宅の延長をお願いしたいです。 ・柔軟な対応、手厚いご支援に心から感謝しております。ありがとうございます。 ・借上住宅の延長を希望します。福島県に言っても分かってもらえません。 ・福島に戻るにはまだまだ放射能の不安があります。低線量被ばくについては、わからないことだらけだと思います。 ・自主避難者に対して、住宅の支援をぜひお願いします。 ・避難者に対する扱いに差別等があったり(国と東電)東電に電話したりしても回答がコロコロ変わるのめいがかなものかと思う。ホームページ等も一般市民がわかりづらいものがあるものすごくあり見にくい。賠償請求ものすごくやりづらいのであきらめた。計算しづらいし、ものすごくめんどくさい。 ・避難者(20km圏外)に対しての支援。東電への働きかけなど支援等の格差をなくして欲しい。 ・2重生活で増大した生活費、被災地との行き来の交通費、それでいて母子避難で仕事につくのが難しい現状。また、3年たち子供が育って狭くなった住居や住民票が秋田にないまま受験ができるのかなど不安もあります。しかし、子ども達のことを考えたら福島には戻れません。せめて今の生活を続けられるようにそして秋田の子ども達と同様に健康で文化的な生活が送れるように自主避難者にも支援をお願いします。 ・母子避難は高速道路無料措置があるが、家族で避難は適用されない。主人の実家にたびたび行くので有ればいい。 ・東電だけではなく被災者のことを忘れていて不安を感じます。※借上民間賃貸住宅終了後も考えて欲しい。(アパートに入るにもお金がないので) ・借上住宅に住める期間を延長してくれるとすれば大変ありがたい事です。が、今後の生活を考えるためには、はっきりとした借上住宅の期間を定めて欲しいと思います。あと1年、あるかないかで方針が大きく変わります。借上住宅終了後に向けての準備を進めるには早めにわかることが重要です。先の予定を立てられることは精神的な安定にもなります。 ・住宅を安定させて欲しい。 ・県の借上民間賃貸住宅は、期限が2年など、3年などその都度延長されているが、住む家の期限を毎年のように心配していて、安心感が持てない。いつ退去しなければならなくなるのか等の不安が精神的にいつめられる感じがする。 ・除染もまだ進んでいないし、このままでは先が不安でしょうがない。除染にお金かけてもムダだと思う。その分、賠償にまわしたらいいと思う。このままでは住むところも決まらないです。
	・借上住宅の延長を希望します。福島県に言っても分かってもらえません。 ・福島に戻るにはまだまだ放射能の不安があります。低線量被ばくについては、わからないことだらけだと思います。 ・自主避難者に対して、住宅の支援をぜひお願いします。 ・避難者に対する扱いに差別等があったり(国と東電)東電に電話したりしても回答がコロコロ変わるのめいがかなものかと思う。ホームページ等も一般市民がわかりづらいものがあるものすごくあり見にくい。賠償請求ものすごくやりづらいのであきらめた。計算しづらいし、ものすごくめんどくさい。 ・避難者(20km圏外)に対しての支援。東電への働きかけなど支援等の格差をなくして欲しい。 ・2重生活で増大した生活費、被災地との行き来の交通費、それでいて母子避難で仕事につくのが難しい現状。また、3年たち子供が育って狭くなった住居や住民票が秋田にないまま受験ができるのかなど不安もあります。しかし、子ども達のことを考えたら福島には戻れません。せめて今の生活を続けられるようにそして秋田の子ども達と同様に健康で文化的な生活が送れるように自主避難者にも支援をお願いします。 ・母子避難は高速道路無料措置があるが、家族で避難は適用されない。主人の実家にたびたび行くので有ればいい。 ・東電だけではなく被災者のことを忘れていて不安を感じます。※借上民間賃貸住宅終了後も考えて欲しい。(アパートに入るにもお金がないので) ・借上住宅に住める期間を延長してくれるとすれば大変ありがたい事です。が、今後の生活を考えるためには、はっきりとした借上住宅の期間を定めて欲しいと思います。あと1年、あるかないかで方針が大きく変わります。借上住宅終了後に向けての準備を進めるには早めにわかることが重要です。先の予定を立てられることは精神的な安定にもなります。 ・住宅を安定させて欲しい。 ・県の借上民間賃貸住宅は、期限が2年など、3年などその都度延長されているが、住む家の期限を毎年のように心配していて、安心感が持てない。いつ退去しなければならなくなるのか等の不安が精神的にいつめられる感じがする。 ・除染もまだ進んでいないし、このままでは先が不安でしょうがない。除染にお金かけてもムダだと思う。その分、賠償にまわしたらいいと思う。このままでは住むところも決まらないです。

被災県	Q17 国に対する要望
	・しっかりと欲しい。 ・国が進めてきた原発で、大事故が起きたのに、原発政策をまた進めることに疑問を感じます。又、海外に技術提供等、事故を起こしたばかりなのに恥ずかしいです。 ・汚染されて資産価値の下がった自宅への損害賠償金を望みます。 ・汚染物を自宅敷地内に埋められたものを、取り除いて欲しい。 ・高速道路料金の無料区間を仕事先～秋田にして欲しい。自宅～秋田だと主人の負担が大きすぎる。 ・就学費・医療費の助成。 ・高速代全て無料化。(山形の月山周辺は料金が掛かります) ・除染を望みます。 ・不安が拭いきれないうちは、借上住宅は延長して欲しいです。子供が18才になるまで…は長くて無理かもしれませんが、せめてもう数年。離ればなれの家族が一緒に住めるよう、転居できれば助かります。入居期間ははっきりと期限を決めていただければ…「だめならだめ」ときっちり決められるので。(心を) ・情報(特に被災地の放射線量や原発の状況)をきちんと開示して欲しい。 ・真実を伝えて欲しい。
福島県	・まだ持病をもって避難している事や原発で避難している人がいる事を忘れて欲しくない。 ・未だに責任の所在が明らかになっていない。当然、事故は収束していないし、コントロールできていない。 ・自主避難者への支援を打ち切らないで欲しい。借上住宅の延長を希望します。 ・県の借上住宅に住まわせていただいておりますが、もうあと1～2年延長して頂きたく切に希望致します。 ・原発事故の賠償金を減らすために、福島県中通り(福島、郡山など)を避難区域にしないのではなく、自主避難する人、その他に残る人(元通りの生活はできないが)両方に適切な損害を賠償を提示して、福島から、出るか、残るかを選択させるべきだ。 ・自主避難をしている私達は、二重生活でかなり生活費がかかり増しとなっている。少しでも、月々、援助して欲しい。 ・うそ、いつわりのない情報の提供。県外への自主避難者に対する健康被害、生活の補償なども含め考えて欲しい。 ・福島県に帰県した父母はもともと同居ではなかったため様子をみに行く時の高速代は自腹になっていきます。母子避難者と同様の支援をお願いしたいです。 ・県外へ自主避難しても医療費控除してほしい。 ・本当にあった出来事、今起きていることをちゃんと伝えて欲しい。 ・移住する優遇して欲しい。

【 3 】 避難元の自治体に対する要望

被災県	Q18 避難元の自治体への要望
岩手県	・借上住宅の延長を希望します。 ・税金医療費の免除。 ・今まで通り新聞の提供をしてもらいたい。(釜石市)
宮城県	・半壊以上の被災でないと言金支援が受けられないのが前提である事がいかなるものか。個々に様々な理由が有って避難していることを理解して欲しい。門前払いをされているように思う。 ・今は、他県に移り生活をしていいますが、やはり雇用問題をなんとかしていただかない限り、避難元には帰れないです。 ・県境で放射線の数値が変わるわけではないと思いますが、県産農産物や水産物の残留値などを積極的に公表して欲しいと思っています。 ・この様な、アンケートや行政に携わる方々は、被災地へ一度でも行って、現場を見ていられるのでしょうか？被災地の声を集める事に、質問事項を見ると、疑問を感じます。各種サービスの提供は大変ありがたい事ではありますが、真に必要な事が、温度差を感じます。 ・南三陸町の縦割り行政に対する不満。脳梗塞入院中の手続き(国保・介護保険・仮設転居など)連絡がスムーズであれば良かった。 ・建物が半壊で退去命令を受けた家屋(マンション)が、いまだに解体が進まず残っています。加算給付請求ができないでいます。家購入者、賃貸住宅入居者は生活再建の補助金としたいです。県・市から管理会社に勧告して欲しい。(元入居者で嘆願しているが説明もない) ・若者達、そしてその子ども達の為に安心して暮らせる支援をして欲しい。
福島県	・近くの畑を借りたい。 ・在宅医療が遅れていると思います。今すぐとは言えませんが計画、準備等を進めてもらいたい。 ・来年の3月末には県の借上民間賃貸住宅が解除になると今より生活が大変になるため、子供が高校卒業するまで延期して欲しいです。 ・福島県に除染のスปีドを上げて欲しい。食品の検査結果を「基準値以下」というあいまいなものではなくはっきり数値で出して欲しい。 ・いつもありがとうございます。 ・個人で戦うには、とても負担が大きく、生活しながら問題と対峙するには、時間も気力も追いつきません。自治体での支援を(ADRなど)これからがんばってください。避難自治体はひとつではありません。隣どうし、もっと協力して東電に立ち向かって欲しいです。 ・鼻血は我が家が家も出ましたよ。まくらを捨てる程の鼻血でした。たぐさんの人が鼻血出てましたよ。我が家は子供の甲状腺にのう胞が見つかりました。帰らない人への支援も真面目にやって欲しい。県民救済、急務です。残る人は残れば良い。汚染の少ない土地に行きたい人の支援も絶対にするべきです。 ・子供の学校の事もあり、秋田県に避難して3年が過ぎ、学校生活に慣れ、今では福島県に戻りたくない、友達がたくさん出来たからと言われました。でも、秋田県内の仕事の賃金が安すぎて生活していくにはとても厳しく、子供の学校生活の事より生活していく事が先で迷っています。子供の事を考えると大館に定住したいです。でも給料と家賃の事を考えると無理です。賃金が安いなりに、家賃高い。 ・自主避難している人に対しての支援。これからでも、避難したい人にも支援が必要だと思ふ。子供達の未来を考え、自治体の未来を考えることだと思ふ。 ・今借りている借上住宅を延長して欲しい。除染も完了していない所に帰るのは不安も強く避難した意味もなくなってしまう。あと、3年(H29.3月まで)は延長して欲しい。 ・住民票を異動しているの、健康調査などが受けられる場合にきちんと通知が届くようになっていいるのか不安です。情報が届くようお願いします。 ・イベントや催し物の連絡をいただき、市町村には大変有りがたく思ふ。 ・今は母子で秋田に避難しておりますが、親戚、家族は福島で生活しております。今後の自分達の生活はどちらが拠点となるか未定ですが、親戚や良くしていたいた知人は福島におりますので福島との交流は永く続きます。公共交通機関の利用助成や便利化が今後もあればお願い、今後の復興も願っています。宜しくお願い致します。 ・「安全だ」という度に、福島県の価値が下がります。自分たち以外の外の声に耳を傾けてみる必要があると思ふ。

被災県	Q18 避難元の自治体への要望
福島県	・福島に戻るにはまだまだ放射能の不安があります。低線量被ばくについては、わからないことだらけだと思います。 ・自主避難者に対して、住宅の支援をぜひお願いします。 ・子供は宝です。自分にとっただけでなく、社会にとっても大切な存在であるはずで。子ども達が希望を持って明るい将来を歩めるように願います。これ以上、子ども達の被ばくを増やさないように、大人が守らねばと思います。どうか、そのような方針をもって政策を決めていただけたらと思います。 ・直接の連絡がないのでどうかと思います。 ・未来のある子供たちの健康を第一に考える政策をしていただきたいと思います。 ・住宅を安定させたい。 ・県の借上民間賃貸住宅は、期限が2年など、3年などその都度延長されているが、住む家の期限を毎年のように心配していて、安心感がもてない。いつ退去しなければならなくなるのか等の不安が精神的においつめられる感じがする。 ・提出書類の手続きなどを避難元県で行った方が良いか避難先県で行った方が良いか統一した方法を教えて欲しい。(どちらからやっても不利益が出てはいけない) ・福島に戻りたいが、40歳も過ぎているのでなかなか就職先が無い。避難者を優先的に就職する企業への優遇措置や、避難者を積極的に雇用するように福島県の企業に働きかけをして欲しい。 ・子どもの健康が心配です。どこへ引っ越しても福島市民と同じ検査、対応をお願いします。 ・借上住宅の期間延長。 ・いつもご支援いただき本当にありがとうございます。できましたら避難者の医療費の助成をお願い致します。 ・不安が拭いきれないうちは、借上住宅は延長して欲しいです。子供が18才になるまで…(は長くて無理かもしれませんが、せめてもう数年。離ればなれの家族と一緒に住めるように、転居できれば助かります。入居期間ははっきりと期限を決めていただければ…「ためならだめ」ときっちり決められるので。(心を) ・向こうでしか受診できないような検診の案内は送ってこれても困る。また機関紙等も線量を測ると高めなので、こちらとしては受け取っても捨てるしかない。 ・諦めず子供達が安全に暮らせるようにこれからも頑張りたいと願う。 ・医療費を一度立て替えて用紙を市に提出するには、なかなか用紙をもらいに行けない人は難しいので、まだ一度も出せずに立て替えたままです。医療費が持病があるので大変です。 ・自主避難者への支援を打ち切らないで欲しい。借上住宅の延長を希望します。 ・県の借上住宅に住まわせていただいておりますが、もうあと1～2年延長していただきたいと切に希望致します。 ・たびたび自宅の方へ訪問していただきありがとうございます。来年3月まで借上住宅にいられますが、その後のことで心配です。何か機会ある際に、住宅情報等を教えていただけたらと助かります。宜しくお願いします。 ・福島県知事が秋田県を訪問し、避難者と交流したということを、メディアを通して知りまして良かったです。避難者のみしかお会いすることができなかったのでしょうか？県知事が来秋する際は避難者全員に教えて欲しい。 ・放射能にかかる検診についての情報提供をしっかりとって欲しい。県外へ避難していると情報量が少ないので。 ・福島県にとって人口流出は大きな問題ですので、住民票を異動した避難者(子ども)が、医療費の全額助成を受けるのは難しいと思いますが、もし甲状腺ガンになった場合の治療費は、現在の住民票ではなく、事故当時福島県に住んでいた子どもを対象に全額補助していただきたいです。

【４】避難者支援に関する意見

被災県	Q19 避難者支援に関する意見
岩手県	・支援や情報提供は十分であり、ありがたいと思っております。 ・雇用。(ブラック企業ではなく、ちゃんとした企業への就職支援) ・医療・福祉関係での補助が欲しい。 ・毎月訪問していただけている方には本当にお世話になっています。一日でも早く自立できるようにこれからもご支援よろしく願っています。
宮城県	・現在住んで居る地域の方に、「東日本大震災の被災者に対して募金や寄付を行っているが、被災者にはどのようなか」と聞かれますが、一時支援金等で震災直後に受けた以外はほとんどないと言えと私達の募金や寄付金はどこにいったのかとよく聞かれます。 ・ある機会バスに乗る事がありました。役所か、県庁、いずれかに勤務される方が乗ってきた際に耳に入ってきた会話ががありました。残業がダルい・面倒・提出物が煩雑だ等々の会話を聞き、思う事は有っても、公共の場で、周囲に聞こえる様に声にするのは、どうかと考えます。宮城では一切無かったので秋田での支援には不安を感じます。 ・様々なご支援を長期に渡りいただきましたが、本当にありがたいと思っています。自立していつまでもご迷惑をお掛けしたくないと思いつつ今日まで至ってしまいました。いつか恩返しができるように生活していきたいと考えています。 ・現在、生活している中で、償ってきた部分と、周囲の方々や友人たちのなげない一言に、例えば「まだ、以前の震災以来の土地に戻らないの？」などと言われたり、「子どもの高校や学校だって、被災地にもあるでしょ？」などと言われると、自分なりに返答していますが、返答する気力が無いときもあります。ですが、1人1人、考えは違い、一生懸命生活している自分自身に自信を持って行きたいと思っています。 ・県の避難者への対応は充分です。お世話になりありがとうございます。 ・いつも温かいご支援には感謝致しお礼申し上げます。今後は秋田に定住をお願いするに当たり居住地を心配しております。つきまして車がなくても最低限生活できる場所の住宅を希望したく存じます。 ・来年の3月末には県の借上民間賃貸住宅が解除になると今より生活が大変になるため、子供が高校卒業するまで延期して欲しいです。 ・毎年アンケートや健康調査など、ありがたい思いはあるのですが(とても感謝しています)モルモットやネズミのような実験動物になったような気分が拭いきれません。年を重ねるごとに、複雑な思いが強くなってきて、辛い部分もあります。 ・秋田県庁の皆さん、いつも本当にありがとうございます。深く感謝しております。 ・私、年なので今いる所、茨島の近くに住みたいので、また買い物も便利だし、なるべく近くに住みたいと思っています。 ・日本全国で福島県民を避難者を受け入れていただけて本当に感謝です。国からの要望でも私たちが福島から離れて生活出来る事が出来ました。ありがとうございます。今後ともよろしく願っています。 ・安定した普通の生活を送りたいです。 ・私達が定住を考えている方々のお手伝いができれば良いのですが…。 ・正社員で働いているので自由もきかず疲れてもいます。 ・避難者支援に対して、自治体各々にも温度差が始めていると感じられます。このどこかで有る一定レベルの避難支援の形態を取るべきだと思います。 ・是非、昨年度まで行っていた地域交流会を(回数とはいませんが)復活させていただきたい。 ・今後も定期的にこのようなアンケート調査の実施をお願いしたい。 ・交流センターの活用。 ・また避難者支援支援員の方(毎年変わるようすが)以前は「スマイル通信」で紹介があり、という方がおられるかわかって安心していましたが最近はまったく分かりません。(名前も)ぜひ紹介のページをのせてください。 ・自主避難者は「逃げてきた」感が強く、いつまでも後ろめたい気持ちが続けられません。その為、福島へは帰れません。避難先での定住も快く認めて欲しいです。 ・高速道路料金の無料措置区間を早急に変更して欲しい。 ・秋田県の支援は親切にしてくれてすぐに対応してくれて安心していています。 ・秋田県による支援には大変感謝しております。これからも避難者支援の継続をどうかよろしく願っています。

被災県	Q19避難者支援に関する意見
	・秋田県の被災者受入支援室の方々が親身になって対応して頂いているお陰でとても心強いです。今後ともよろしくお願い致します。 ・いつも被災者受入支援室の職員はじめ支援員の方には気にかけて頂き、有難く思っております。母子2人だけで、フルタイムで仕事をしているので、休日のイベント等の参加が難しく、声をかけてもらっているのに申し訳ないと思っております。 ・高速度道路、山形道も含め無料化。 ・医療費の無料。(免除または助成) ・県職員の皆様、私達を気に掛けてくださりありがとうございます。
福島県	・借上民間住宅での支援分上限6万円分を新たに定住のために新築または住宅購入の際のローンの一部支援にあてる、なんてことは無理なんでしょうか？ ・就労変化で収入が減ったための補償方法。 ・次の住宅探し。 ・十分です。 ・秋田県被災者支援室の皆様方にはとてもよく配慮していただきありがとうございます。何かの時にはその都度お話し申し上げます。どうぞよろしくお願ひ致します。 ・秋田県の被災者受入支援室の方々には大変よくしていただき感謝しております。ありがとうございます。

IV 經年比較

Ⅳ 主な設問に対する回答の経年変化(平成24年度～平成26年度)

※平成24年度については、岩手県、宮城県、福島県以外の避難者1世帯の回答があったことから既に公表されている調査結果とは異なる部分があります。

【1】避難元の県

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
① 岩手県	12	5.0%	9	4.1%	9	5.3%
② 宮城県	42	17.4%	50	22.7%	40	23.5%
③ 福島県	188	77.7%	161	73.2%	121	71.2%
計	242		220		170	
	回答率	42.0%	回答率	46.0%	回答率	40.8%

【2】記入者の年代

	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	岩手県	宮城県	福島県	合計	岩手県	宮城県	福島県	合計	岩手県	宮城県	福島県	合計
① 29歳以下	0	3	15	18	0	0	16	16	0	1	8	9
② 30代	5	15	86	106	1	17	53	71	1	10	44	55
③ 40代	3	3	50	56	2	6	48	56	2	8	39	49
④ 50代	0	6	10	16	1	8	11	20	1	9	12	22
⑤ 60代	2	11	23	36	2	12	22	36	3	9	11	23
⑥ 70代	2	2	3	7	1	5	8	14	0	2	7	9
⑦ 80代以上	0	2	1	3	2	2	3	7	2	0	0	2
合計	12	42	188	242	9	50	161	220	9	39	121	169

無回答:1名

【3】現在の住居

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 県の借上民間賃貸住宅	138	57.0%	5	16	117	119	54.1%	2	17	100	100	58.8%	2	18	80
② 県営住宅	13	5.4%	1	3	9	8	3.6%	1	3	4	8	4.7%	1	4	3
③ 市町村営住宅	11	4.5%	1	1	9	9	4.1%	1	2	6	7	4.1%	2	2	3
④ 雇用促進住宅	13	5.4%	0	1	12	8	3.6%	0	1	7	6	3.5%	0	0	6
⑤ 知人・親類宅(実家含む)	37	15.3%	3	12	22	33	15.0%	2	10	21	19	11.2%	1	5	13
⑥ アパート等(自己負担)	19	7.9%	1	5	13	20	9.1%	0	9	11	16	9.4%	1	5	10
⑦ 自宅(避難後に取得)	項目なし					11	5.0%	1	3	7	9	5.3%	1	2	6
⑧ その他	11	4.5%	1	4	6	12	5.5%	2	5	5	5	2.9%	1	4	0
合計	242		12	42	188	220		9	50	161	170		9	40	121

【4】世帯構成

		平成24年度					平成25年度					平成26年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
子育て世帯	母子避難	94	38.8%	2	10	82	59	26.8%	0	4	55	46	27.1%	0	6	40
	父子避難	1	0.4%	0	0	1	1	0.5%	0	0	1	1	0.6%	0	0	1
	世帯避難	56	23.1%	3	10	43	74	33.6%	3	15	56	64	37.6%	4	11	49
成人世帯	単身	36	14.9%	2	8	26	46	20.9%	2	16	28	36	21.2%	2	15	19
	成人夫婦	55	22.7%	5	14	36	28	12.7%	4	9	15	17	10.0%	3	5	9
	その他						12	5.5%	0	6	6	6	3.5%	0	3	3
	合計	242		12	42	188	220		9	50	161	170		9	40	121

【5】住民票の異動について

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 全員異動している	81	33.5%	7	21	53	95	43.2%	7	29	59	79	46.5%	8	23	48
② 全員異動していない	149	61.6%	3	18	128	108	49.1%	2	17	89	78	45.9%	1	10	67
③ 一部だけ異動している	12	5.0%	2	3	7	16	7.3%	0	4	12	12	7.1%	0	6	6
合 計	242		12	42	188	219		9	50	160	169		9	39	121

無回答:1名

無回答:1名

【6】住民票を異動しない理由(複数回答有り)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 被災地との関係を保つため	28	17.4%	2	3	23	31	25.0%	1	9	21	29	32.2%	1	6	22
② あくまで一時的な避難だから	54	33.5%	1	5	48	35	28.2%	1	5	29	15	16.7%	0	2	13
③ 住民票を異動すると不利益がある、又はあるかもしれないから	39	24.2%	0	5	34	45	36.3%	1	4	40	40	44.4%	0	2	38
④ 特に理由はない	14	8.7%	0	4	10	18	14.5%	0	5	13	7	7.8%	0	2	5
⑤ その他	17	10.6%	1	2	14	19	15.3%	1	5	13	13	14.4%	0	4	9

※割合の分母を「【5】②+③」に変更

【7】秋田県に避難してきた理由(Q2:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 親類や知人がいる	155	64.0%	9	29	117	142	64.5%	7	35	100	108	63.5%	7	25	76
② 自分や家族が以前に住んだことがある	54	22.3%	5	9	40	44	20.0%	1	10	33	29	17.1%	0	5	24
③ 会社の関係	27	11.2%	2	7	18	23	10.5%	2	9	12	19	11.2%	2	8	9
④ 子どもの学校との関係	11	4.5%	2	1	8	10	4.5%	1	3	6	10	5.9%	1	2	7
⑤ 行政や地域からの支援への期待	26	10.7%	1	1	24	12	5.5%	1	3	8	13	7.6%	1	2	10
⑥ 被災地に近い	14	5.8%	2	1	11	10	4.5%	0	1	9	7	4.1%	0	0	7
⑦ 地震や津波などの災害が少ない	48	19.8%	4	8	36	35	15.9%	1	9	25	25	14.7%	2	5	18
⑧ 放射能汚染の心配がない	120	49.6%	2	4	114	81	36.8%	1	5	75	61	35.9%	0	3	58
⑨ 特になし	1	0.4%	0	1	0	5	2.3%	0	2	3	4	2.4%	0	2	2
⑩ その他	23	9.5%	0	8	15	8	3.6%	0	2	6	16	9.4%	1	4	11

【8】秋田県内での相談相手(Q3:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 家族・親戚	156	64.5%	10	29	117	134	60.9%	8	32	94	108	63.5%	8	25	75
② 友人・知人	105	43.4%	8	13	84	98	44.5%	3	21	74	80	47.1%	1	17	62
③ 県内の他の避難者	46	19.0%	0	6	40	18	8.2%	1	2	15	14	8.2%	0	1	13
④ 行政機関(相談員含む)	33	13.6%	3	6	24	46	20.9%	2	11	33	40	23.5%	2	10	28
⑤ 民生・児童委員	0	0.0%	0	0	0	3	1.4%	0	1	2	1	0.6%	0	1	0
⑥ 町内会・自治会の人	9	3.7%	2	1	6	8	3.6%	0	3	5	9	5.3%	2	5	2
⑦ 民間の支援団体	2	0.8%	0	0	2	2	0.9%	0	0	2	1	0.6%	0	0	1
⑧ 特定の相談相手はいない	39	16.1%	0	6	33	31	14.1%	0	9	22	20	11.8%	0	6	14
⑨ その他	14	5.8%	0	2	12	6	2.7%	0	2	4	11	6.5%	0	4	7

【9】主な生活資金(Q4:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① (秋田県内で働いている方)の給料	159	65.7%	7	23	129	135	61.4%	3	26	106	94	55.3%	3	24	67
② 年金・恩給	43	17.8%	5	15	23	51	23.2%	5	20	26	34	20.0%	5	11	18
③ 貯金	88	36.4%	3	12	73	57	25.9%	1	9	47	46	27.1%	2	11	33
④ 親戚・知人からの援助	22	9.1%	2	2	18	11	5.0%	0	4	7	5	2.9%	0	1	4
⑤ 雇用保険・失業手当	16	6.6%	1	2	13	3	1.4%	0	1	2	3	1.8%	0	1	2
⑥ 生活保護	2	0.8%	0	1	1	5	2.3%	0	3	2	2	1.2%	0	1	1
⑦ 東電の損害賠償金	63	26.0%	0	0	63	45	20.5%	0	0	45	21	12.4%	0	0	21
⑧ 避難先で働いている夫や家族からの仕送り	項目無し										36	21.2%	0	3	33
⑨ その他	9	3.7%	0	1	8	15	6.8%	2	3	10	5	2.9%	1	2	2

【10】生活費の変化(Q5)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① かなりのかかり増しとなっている	124	51.2%	3	16	105	104	47.3%	5	18	81	86	50.6%	2	14	70
② 多少のかかり増しとなっている	83	34.3%	8	16	59	67	30.5%	1	16	50	53	31.2%	4	16	33
③ あまり変わらない	27	11.2%	1	8	18	41	18.6%	3	14	24	23	13.5%	2	7	14
④ 生活費はあまりかからなくなった	5	2.1%	0	1	4	8	3.6%	0	2	6	3	1.8%	0	2	1
合計	239		12	41	186	220		9	50	161	165		8	39	118

無回答3

無回答5

	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯
① かなりのかかり増しとなっている	124	51.9%	92	32	104	47.3%	68	36	86	50.6%	65	21
② 多少のかかり増しとなっている	83	34.7%	45	38	67	30.5%	43	24	53	31.2%	33	20
③ あまり変わらない	27	11.3%	10	17	41	18.6%	21	20	23	13.5%	11	12
④ 生活費はあまりかからなくなった	5	2.1%	2	3	8	3.6%	3	5	3	1.8%	1	2
合計	239		149	90	220		135	85	165		110	55

【11】現在、同居の家族の中で、秋田県内に避難してから、「眠れない」「集中力の低下」「イライラする」といった精神面の不調や「体がだるい」「めまいや頭痛」といった身体の不調を訴えるようになった方はいますか。(Q6)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① いる	101	41.7%	6	19	76	95	43.2%	4	22	69	74	43.5%	4	19	51
② いない	129	53.3%	6	19	104	114	51.8%	4	22	88	89	52.4%	4	20	65
③ 無回答	12	5.0%	0	4	8	11	5.0%	1	6	4	7	4.1%	1	1	5
合計	242		12	42	188	220		9	50	161	170		9	40	121

	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯
① いる	101	41.7%	64	37	95	43.2%	53	42	74	43.5%	53	21
② いない	129	53.3%	79	50	114	51.8%	77	37	89	52.4%	56	33
③ 無回答	12	5.0%	8	4	11	5.0%	4	7	7	4.1%	2	5
合計	242		151	91	220		134	86	170		111	59

【12】 新規

【13】 現在居住している市町村から提供される行政サービスで、不便を感じる分野について、お答え願います。(Q7:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 特になし	140	57.9%	7	25	108	155	70.5%	6	33	116	111	65.3%	6	27	78
② 育児・児童福祉	36	14.9%	1	5	30	10	4.5%	0	1	9	10	5.9%	0	1	9
③ 障害者福祉	3	1.2%	1	1	1	3	1.4%	0	1	2	4	2.4%	0	3	1
④ 老人福祉	2	0.8%	0	0	2	4	1.8%	1	1	2	2	1.2%	1	1	0
⑤ 母子保健	13	5.4%	0	3	10	5	2.3%	0	1	4	2	1.2%	0	0	2
⑥ 医療・健康	50	20.7%	4	5	41	26	11.8%	1	4	21	24	14.1%	1	5	18
⑦ 学校教育	12	5.0%	2	1	9	6	2.7%	0	1	5	6	3.5%	0	0	6
⑧ その他の行政サービス	16	6.6%	0	4	12	7	3.2%	0	4	3	37	21.8%	0	6	31

【14】 支援制度など生活再建に必要な関係情報の提供が不十分と思う行政機関をお答え願います。(Q8:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 国	149	61.6%	6	20	123	108	49.1%	3	17	88	86	50.6%	1	12	73
② 被災県	99	40.9%	4	11	84	67	30.5%	4	10	53	49	28.8%	0	9	40
③ 被災市町村	71	29.3%	3	7	61	55	25.0%	1	8	46	44	25.9%	3	9	32
④ 秋田県	19	7.9%	2	5	12	12	5.5%	0	2	10	8	4.7%	1	3	4
⑤ 秋田県内の居住市町村	11	4.5%	0	3	8	13	5.9%	0	2	11	13	7.6%	0	4	9
⑥ 不十分とは思わない	59	24.4%	2	15	42	66	30.0%	3	23	40	54	31.8%	4	20	30

	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯
① 国	149	61.6%	101	48	108	49.1%	67	41	86	50.6%	62	24
② 被災県	99	40.9%	68	31	67	30.5%	42	25	49	28.8%	36	13
③ 被災市町村	71	29.3%	50	21	55	25.0%	37	18	44	25.9%	30	14
④ 秋田県	19	7.9%	13	6	12	5.5%	6	6	8	4.7%	5	3
⑤ 秋田県内の居住市町村	11	4.5%	9	2	13	5.9%	8	5	13	7.6%	9	4
⑥ 不十分とは思わない	59	24.4%	31	28	66	30.0%	38	28	54	31.8%	30	24

【15】 行政機関等からの情報提供の手段として、もっと充実してほしいものをお答え願います。(Q9:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 広報・情報誌等の郵送	88	36.4%	8	13	67	85	38.6%	3	16	66	34	20.0%	4	6	24
② 各行政機関のホームページ	40	16.5%	2	7	31	35	15.9%	1	7	27	7	4.1%	0	1	6
③ サロン等の拠点施設	16	6.6%	0	2	14	12	5.5%	0	4	8	10	5.9%	0	3	7
④ マスメディアによる報道	64	26.4%	3	5	56	64	29.1%	3	8	53	47	27.6%	1	8	38
⑤ 相談会・説明会	40	16.5%	0	4	36	26	11.8%	1	3	22	17	10.0%	1	4	12
⑥ その他	19	7.9%	1	6	12	16	7.3%	0	5	11	9	5.3%	1	2	6

【16～21】 新規

【22】今後の予定について、お答え願います(Q13)。

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 帰県する時期を決めている	16	6.6%	0	0	16	11	5.0%	0	3	8	8	4.7%	0	2	6
② 他県へ移動する時期を決めている	5	2.1%	0	1	4	3	1.4%	0	0	3	3	1.8%	0	0	3
③ いずれは帰県したいが、時期は決めていない	92	38.0%	3	11	78	72	32.7%	3	12	56	35	20.6%	1	8	26
④ すでに秋田県に定住している	0	0.0%	項目なし			35	15.9%	3	11	21	22	12.9%	3	7	12
⑤ 秋田県に定住したい・定住を決めている	53	21.9%	3	13	37	47	21.4%	2	13	32	49	28.8%	2	11	36
⑥ 他の都道府県に定住したい	0	0.0%	0	0	0	3	1.4%	0	0	3	5	2.9%	0	1	4
⑦ 未定	72	29.8%	6	16	50	46	20.9%	1	10	35	40	23.5%	1	10	29
⑧ 無回答	4	1.7%	0	1	3	3	1.4%	0	1	2	8	4.7%	2	1	5
合計	242		12	42	188	220		9	50	160	170		9	40	121

	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯
① 帰県する時期を決めている	16	6.6%	8	8	11	5.0%	10	1	8	4.7%	6	2
② 他県へ移動する時期を決めている	5	2.1%	4	1	3	1.4%	3	0	3	1.8%	3	0
③ いずれは帰県したいが、時期は決めていない	92	38.0%	54	38	72	32.7%	39	33	35	20.6%	23	12
④ すでに秋田県に定住している	0	0.0%	項目なし		35	15.9%	23	12	22	12.9%	13	9
⑤ 秋田県に定住したい・定住を決めている	53	21.9%	33	20	47	21.4%	28	19	49	28.8%	29	20
⑥ 他の都道府県に定住したい	0	0.0%	0	0	3	1.4%	1	2	5	2.9%	5	0
⑦ 未定	72	29.8%	49	23	46	20.9%	29	17	40	23.5%	26	14
⑧ 無回答	4	1.7%	3	1	3	1.4%	1	2	8	4.7%	6	2
合計	242		151	91	220		134	86	170		111	59

【23】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います。どの程度の期間を想定しているのかお答え願います。(Q13-1)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 永住したい	項目なし					26	55.3%	1	7	18	28	57.1%	1	9	18
② 今の就職先を定年退職するまで						0	0.0%	0	0	0	2	4.1%	0	1	1
③ 子どもが独立するまで						3	6.4%	0	1	2	5	10.2%	1	0	4
④ 子どもが高校卒業するまで						3	6.4%	0	0	3	4	8.2%	0	0	4
⑤ 子どもが義務教育終了するまで						2	4.3%	0	0	2	2	4.1%	0	0	2
⑥ 県外で就職先を見つけるまで						1	2.1%	0	0	1	0	0.0%	0	0	0
⑦ 住宅の借上制度が終了するまで						4	8.5%	0	3	1	3	6.1%	0	1	2
⑧ その他						5	10.6%	1	1	3	4	8.2%	0	0	4
合計						44					48				

無回答3

無回答1

【24】 新規

【25】「Q13」で「⑤秋田県に定住したい・定住を決めている」方に伺います定住を考えるにあたり、どのような支援を望むかお答え願います。(Q13-3:複数回答可)

	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
① 医療・福祉の助成	項目なし					12	25.5%	1	3	8	23	46.9%	1	4	18
② 不動産情報(空き家・空き地)の提供						21	44.7%	2	5	14	16	32.7%	1	2	13
③ 住宅購入・リフォームに対する支援						16	34.0%	0	4	12	24	49.0%	0	4	20
④ 公営住宅への優先入居						15	31.9%	1	5	9	19	38.8%	1	8	10
⑤ 育児・教育の助成						11	23.4%	0	0	11	17	34.7%	1	2	14
⑥ 公共交通機関の利用助成						5	10.6%	1	0	5	5	10.2%	0	2	3
⑦ 就業支援						14	29.8%	2	2	10	13	26.5%	1	3	9
⑧ 起業支援・経費助成						2	4.3%	0	1	1	2	4.1%	0	2	0
⑨ 既移住者とのネットワーク形成						5	10.6%	1	2	2	1	2.0%	0	1	0
⑩ 地元住民との交流会の開催						5	10.6%	0	2	3	2	4.1%	0	2	0
⑪ その他						1	2.1%	0	0	1	0	0.0%	0	0	0

[27] 「Q13」で「③いずれは帰県したいが、時期を決めていない」方に伺います。決められない主な理由をお答え願います。(Q14:複数回答可)

		平成24年度					平成25年度					平成26年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	被災地での住宅が確保できない	28	30.4%	5	7	16	25	34.7%	3	9	13	10	28.6%	1	4	5
②	街の再生など被災地の復興の目処が不明	36	39.1%	6	3	27	27	37.5%	1	3	23	7	20.0%	1	1	5
③	被災地の除染の、目処が不明	58	63.0%	1	0	57	34	47.2%	0	0	34	9	25.7%	0	0	9
④	放射能による健康への影響が不安	74	80.4%	0	1	73	46	63.9%	0	1	45	18	51.4%	0	0	18
⑤	被災地での仕事が見つからない	24	26.1%	2	7	15	21	29.2%	0	3	18	5	14.3%	0	0	5
⑥	子どもの育児、教育を優先したい	33	35.9%	1	2	30	23	31.9%	1	1	21	9	25.7%	0	1	8
⑦	福島県内で自主避難者の施設がない	8	8.7%	0	0	8	2	2.8%	0	0	2	0	0.0%	0	0	0
⑧	避難元の市町村等からの指示に従いたい	5	5.4%	1	0	4	6	8.3%	0	2	4	0	0.0%	0	0	0
⑨	その他	11	12.0%	2	1	8	6	8.3%	0	2	4	9	25.7%	0	4	5

[28] 今、必要としている支援について、下の事項から4つ以内で選択してください(Q15)。

		平成24年度					平成25年度					平成26年度				
		件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県	件数	割合	岩手県	宮城県	福島県
①	就労関係	45	18.6%	3	8	34	42	19.1%	2	7	33	43	25.3%	1	9	33
②	避難生活に対する助成	109	45.0%	6	15	88	82	37.3%	2	17	63	66	38.8%	2	11	53
③	障害者福祉サービス	6	2.5%	1	0	5	6	2.7%	1	3	2	6	3.5%	2	3	1
④	介護サービス	3	1.2%	0	1	2	5	2.3%	1	1	3	5	2.9%	2	3	0
⑤	医療費の助成	69	28.5%	8	14	47	60	27.3%	4	16	40	49	28.8%	3	11	35
⑥	心身の健康の保持	24	9.9%	0	2	22	17	7.7%	0	4	13	12	7.1%	2	4	6
⑦	育児・子育て	45	18.6%	1	9	35	32	14.5%	1	6	25	24	14.1%	1	4	19
⑧	子どもの教育・学習	34	14.0%	3	4	27	34	15.5%	0	4	30	28	16.5%	1	3	24
⑨	被災地からの情報提供	53	21.9%	6	7	40	40	18.2%	4	5	31	11	6.5%	0	3	8
⑩	秋田での暮らしの総合相談	14	5.8%	0	5	9	13	5.9%	0	5	8	7	4.1%	1	4	2
⑪	避難者交流会の開催	10	4.1%	0	3	7	13	5.9%	2	3	8	7	4.1%	0	3	4
⑫	各イベントへの招待	15	6.2%	1	0	14	22	10.0%	2	2	18	16	9.4%	2	2	12
⑬	生活再建にかかる相談	15	6.2%	0	5	10	17	7.7%	1	4	12	10	5.9%	1	4	5
⑭	放射能にかかる健康相談・検診	88	36.4%	0	3	85	52	23.6%	0	1	51	30	17.6%	0	2	28
⑮	原発事故の損害賠償の相談	52	21.5%	0	2	50	31	14.1%	0	0	31	19	11.2%	0	1	18
⑯	被災地への帰還(一時帰還を含む)	21	8.7%	1	2	18	11	5.0%	0	1	10	12	7.1%	0	2	10
⑰	その他	22	9.1%	0	6	16	10	4.5%	0	3	7	10	5.9%	0	2	8

		平成24年度				平成25年度				平成26年度			
		件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯	件数	割合	子育て世帯	成人世帯
①	就労関係	45	18.6%	30	15	42	19.1%	28	14	43	25.3%	33	10
②	避難生活に対する助成	109	45.0%	80	29	82	37.3%	55	27	66	38.8%	48	18
③	障害者福祉サービス	6	2.5%	4	2	6	2.7%	2	4	6	3.5%	2	4
④	介護サービス	3	1.2%	2	1	5	2.3%	1	4	5	2.9%	1	4
⑤	医療費の助成	69	28.5%	49	20	60	27.3%	42	18	49	28.8%	37	12
⑥	心身の健康の保持	24	9.9%	12	12	17	7.7%	9	8	12	7.1%	5	7
⑦	育児・子育て	45	18.6%	38	7	32	14.5%	31	1	24	14.1%	23	1
⑧	子どもの教育・学習	34	14.0%	32	2	34	15.5%	31	3	28	16.5%	27	1
⑨	被災地からの情報提供	53	21.9%	30	23	40	18.2%	23	17	11	6.5%	5	6
⑩	秋田での暮らしの総合相談	14	5.8%	5	9	13	5.9%	9	4	7	4.1%	3	4
⑪	避難者交流会の開催	10	4.1%	5	5	13	5.9%	3	10	7	4.1%	4	3
⑫	リフレッシュ事業への招待	15	6.2%	10	5	22	10.0%	14	8	16	9.4%	7	9
⑬	生活再建にかかる相談	15	6.2%	5	10	17	7.7%	9	8	10	5.9%	3	7
⑭	放射能にかかる健康相談・検診	88	36.4%	73	15	52	23.6%	44	8	30	17.6%	24	6
⑮	原発事故の損害賠償の相談	52	21.5%	32	20	31	14.1%	22	9	19	11.2%	15	4
⑯	被災地への帰還(一時帰還を含む)	21	8.7%	9	12	11	5.0%	5	6	12	7.1%	6	6
⑰	その他	22	9.1%	11	11	10	4.5%	8	2	10	5.9%	7	3

V アンケート調査票

県内避難者アンケート調査票

このアンケートは、世帯主（主として家計を維持している者）がご記入ください。

なお、世帯主が避難元の住居にとどまっている等の場合は、現に避難されている方々の代表者の方がご答えください。（該当する番号を「○」囲んでください。または、（ ）内にご記入ください。）

1 ご家族の状況について

Q1 ご家族の状況等についてお答えください。

記入者	【区分】	① 世帯主	② 代表者	
	【性別】	① 男	② 女	
	【年代】	① 29歳以下	② 30代	③ 40代 ④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代 ⑦ 80代以上
名 前	※必ず記入する必要はありませんが、今後、貴方が求めている支援等について、お尋ねする場合がありますので差し支えない方はご記入ください。 ()			
被災時の 居住地	① 岩手県 ② 宮城県 ③ 福島県 ④ その他 ()			
	市町村名について具体的に記入してください。 ()			
現在の 居住地	市町村名について具体的に記入してください。 ()			
	① 県の借上民間賃貸住宅 ② 県営住宅 ③ 市町村営住宅 ④ 雇用促進住宅 ⑤ 知人・親類（実家含）宅 ⑥ アパート等（家賃は自己負担） ⑦ 自宅（避難後に取得） ⑧ その他 ()			
避難の 状況	① 母子避難 ② 父子避難 ③ 親子全員避難 ④ 成人夫婦避難 ⑤ 単身避難 ⑥ その他			
住民票 について	現在、居住している県内の市町村に住民票を異動していますか。			
	① 全員異動している ② 全員異動していない			
	③ 一部だけ異動している（異動していない方 続柄 ()			
	住民票を異動しない理由を伺います。			
	① 被災地との関係を保つため ② あくまで一時的な避難だから ③ 住民票を異動をすると不利益がある、又はあるかもしれないから ④ 特に理由はない ⑤ その他（具体的に： ()			

2 避難の状況について

Q2 秋田県に避難してきた理由についてお答え願います。(複数回答可)

- ① 親類や知人がいる ② 自分や家族が以前に住んだことがある
- ③ 会社の関係 ④ 子どもの学校の関係
- ⑤ 行政や地域の支援への期待 ⑥ 被災地に近い
- ⑦ 地震や津波などの災害が少ない ⑧ 放射能汚染の心配がない
- ⑨ 特になし
- ⑩ その他（具体的に：

Q3. 日常生活での困り事について、秋田県内での相談相手はどのような方ですか。（複数回答可）

- ① 家族・親戚 ② 友人・知人 ③ 県内の他の避難者
④ 行政機関（相談員を含む） ⑤ 民生・児童委員
⑥ 町内会・自治会の人 ⑦ 民間の支援団体
⑧ 特定の相談相手はいない ⑨ その他（具体的に：

Q4. 現在避難している世帯の主な生活資金について、お答え願います。(複数回答可)

- ① 秋田県内で働いている方の給料 ② 年金・恩給 ③ 貯金
④ 親戚・知人からの援助 ⑤ 雇用保険や失業手当 ⑥ 生活保護
⑦ 東電の損害賠償金 ⑧ 避難元等で働いている夫や家族からの仕送り
⑨ その他（具体的に： ）

Q5 被災前と比較し、現在の生活費はどのような変化がありましたか。

- ① かなりのかかり増しとなっている ② 多少のかかり増しとなっている
③ あまり変わらない ④ 生活費はあまりかからなくなった

Q6 現在、同居の家族の中で、秋田県内に避難してから、「眠れない」「集中力の低下」「イライラする」といった精神面の不調や「体がだるい」「めまいや頭痛」といった身体の不調を訴えるようになった方はいますか。

- ① いる ② いない

Q6-1 Q6で「いる」と答えた方にお聞きします。不調を訴える方はどなたですか。

- ① 子ども（18歳未満） ② 子どもと大人 ③ 大人

Q6-2 Q6-1で不調を訴える方はどのような症状を訴えていますか。

(具体的に)

Q6-3 県では、希望される方に対しまして、保健師等が訪問し健康等上記の悩みに関する相談活動を行っております。訪問相談を希望しますか。

- ① 希望する ② 希望しない

※ 希望する方は、個別票にてご連絡ください。

3 避難先での行政サービス

Q7 現在居住している市町村から提供される行政サービスで、不便を感じる分野について、お答え願います。(複数回答可)

- ① 特になし ② 育児・児童福祉 ③ 障害者福祉 ④ 老人福祉
⑤ 母子保健 ⑥ 医療・健康 ⑦ 学校教育
⑧ その他の行政サービス

(具体的にどのような点で不便を感じますか、ご記入ください)

4 避難者の支援

Q8 支援制度など生活再建に必要な関係情報の提供が不十分と思う行政機関をお答え願います。(複数回答可)

- ① 国 ② 被災県 ③ 被災市町村 ④ 秋田県
⑤ 秋田県内の居住市町村 ⑥ 不十分とは思わない

Q9 行政機関等からの情報提供の手段として、もっと充実してほしいものをお答え願います。(複数回答可)

- | | |
|--------------|-----------------|
| ① 広報・情報誌等の郵送 | ② 各行政機関のホーム・ページ |
| ③ サロン等の拠点施設 | ④ マスメディアによる報道 |
| ⑤ 相談会・説明会 | ⑥ その他(具体的に:) |

5 就労の希望

Q10 避難しているご家族の就労状況をお答え願います。現在避難している方の中で秋田県内で就労している方はおりますか。

- ① いる ➡ Q10-1~2へ
② いない ➡ Q10-3~5へ

Q10-1 Q10で「①いる」と答えた方にお聞きます。働いている方はどなたですか。

- ① 母子避難の母 ② 父子避難の父 ③ 親子全員(成人夫婦)避難の父
④ 親子全員(成人夫婦)避難の母 ⑤ 親子全員(成人夫婦)避難の両親
⑥ 単身避難の本人 ⑦ その他(具体的に:)

Q10-2 Q10で「①いる」と答えた方にお聞きます。働いている方の就労形態をお答え願います。

- ① 正社員 ② 雇用期間が決まっている臨時社員 ③ パート・アルバイト
④ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらも正社員
⑤ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、正社員と臨時社員
⑥ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、正社員とパート・アルバイト
⑦ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらも臨時社員
⑧ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、臨時社員とパート・アルバイト
⑨ 親子全員(成人夫婦)避難の両親とも働いている場合、どちらもパート・アルバイト
⑩ その他

Q10-3 Q10で「②いない」と答えた方にお聞きます。現在、就職をするためにハローワークへ登録など就職活動を行っていますか。

- ① ハローワークに登録して就職活動をしている
② ハローワークに登録しないで就職活動をしている
③ 就職したいと思っているが、現在は就職活動をしていない
④ 就職することは考えていない

Q10-4 Q10-3で、①又は②の「就職活動をしている」と答えた方にお聞きます。どのような職種を希望していますか。

- ① 事務的職業 ② 専門的・技術的職業 ③ 販売の職業 ④ サービスの職業
⑤ 保安の職業 ⑥ 輸送・機械運転の職業 ⑦ 建設の職業 ⑧ 農林漁業の職業
⑨ 運搬・清掃・包装等の職業 ⑩ 管理的職業
⑪ その他(具体的に:)

Q10-5 Q10-3で、①又は②の「就職活動をしている」と答えた方にお聞きます。どのような雇用形態を希望していますか。

- ① 正社員 ② 雇用期間が決められた臨時社員 ③ パート・アルバイト
④ その他(具体的に:)

Q11 起業・創業を希望する方は、お答え願います。

- ① 起業・創業を希望する ② 支援制度を知りたい

※ 支援機関・団体をご紹介しますので、個別票にてご連絡ください。

Q12 農林水産業への従事を希望する方は、お答え願います。

- ① 経験があるので、直ちに従事したい
② 研修を受けてみたい
③ 支援制度を知りたい

※ 支援機関・団体をご紹介しますので、個別票にてご連絡ください。

6 今後の予定について

Q13 今後の予定について、お答え願います。

- ① 帰県する時期を決めている (年 月ころ)
② 他県へ移動する時期を決めている (年 月ころ)
③ いずれは帰県したいが、時期は決めていない ⇨ Q14へ
④ すでに秋田県に定住している ⇨ Q13-2へ
⑤ 秋田県に定住したい・定住を決めている ⇨ Q13-1～4へ
⑥ 他の都道府県に定住したい
⑦ 未定(理由:)

Q13-1 秋田県内への定住について、どの程度の期間を想定してますか。

- ① 永住したい
- ② 今の就職先を定年退職するまで
- ③ 子どもが独立するまで
- ④ 子どもが高校を卒業するまで
- ⑤ 子どもが義務教育を終了するまで
- ⑥ 県外で就職先を見つけるまで
- ⑦ 住宅の借上制度が終了するまで
- ⑧ その他（具体的に：

Q13-2 秋田県を定住先として決めた一番の理由をお答え願います。

- ① 家族の中に秋田県出身者がいる
② 親類や知人がいる
③ 教育環境や子どもの学校の関係
④ 行政や地域の支援体制
⑤ 地震や津波などの災害が少ない
⑥ 放射能汚染の心配がない
⑦ 生活がしやすい
⑧ 仕事が決まった(自営含む)
⑨ その他(具体的に:)

Q13-3 秋田県への定住を考えるにあたり、どのような支援を望みますか。(複数回答可)

- ① 医療・福祉の助成
- ② 不動産情報（空き家、空き地）の提供
- ③ 住宅購入・リフォームに対する支援
- ④ 公営住宅への優先入居
- ⑤ 育児・教育の助成
- ⑥ 公共交通機関の利用助成
- ⑦ 就業支援
- ⑧ 起業支援・経費助成
- ⑨ 既移住者とのネットワーク形成、体験談を聞く機会の設定
- ⑩ 地元住民との交流会の開催
- ⑪ その他（具体的に：

Q13-4 秋田県への定住を考えるにあたり、住居としてどこを考えていますか。

- ① 住宅を購入(建築)
- ② 県営等の公営住宅 ➡ 別添の調査票にご記入下さい。
- ③ 賃貸マンション・アパート
- ④ 実家・知人宅
- ⑤ その他(具体的に:

Q14 「Q13」で「③いずれは帰県したいが、時期を決めていない」方に伺います。決められない主な理由をお答え願います。(複数回答可)

- ① 被災地での住宅が確保できない ② 街の再生など被災地の復興の目処が不明
- ③ 被災地の除染の目処が不明 ④ 放射能による健康への影響が不安
- ⑤ 被災地での仕事が見つからない ⑥ 子どもの育児、教育を優先したい
- ⑦ 福島県内で自主避難者用の施設がない
- ⑧ 避難元の市町村等からの指示に従いたい
- ⑨ その他(具体的に:)

7 支援の要望について

Q15 今、必要としている支援について、下の事項から4つ以内で選択してください。

- ① 就労関係 ② 避難生活に対する助成
- ③ 障害者福祉サービス ④ 介護サービス
- ⑤ 医療費の助成 ⑥ 心身の健康の保持
- ⑦ 育児・子育て ⑧ 子どもの教育・学習
- ⑨ 被災地からの情報提供 ⑩ 秋田での暮らしの総合相談
- ⑪ 避難者交流会の開催 ⑫ 各種イベントへの招待
- ⑬ 生活再建にかかる相談 ⑭ 放射能にかかる健康相談・検診
- ⑮ 原発事故の損害賠償の相談 ⑯ 被災地への帰還(一時帰還を含む)
- ⑰ その他(具体的に:)

Q16 秋田県や、今居住している市町村に対する要望を自由にお書きください。

Q17 国に対する要望を自由にお書きください。

Q18 避難元の県や市町村に対する要望を自由にお書きください。

Q19 その他避難者支援に関するご意見を自由にお書きください。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

本アンケート調査票を同封の返信用封筒により、5月28日（水）までに返送ください。

なお、本アンケート調査の集計結果については、県のホームページ等により公表するほか被災県にも提供しますが、個人が特定されることのないよう十分に配慮します。

担当・問い合わせ先

秋田県総合政策課被災者受入支援室

TEL 018-860-4504 FAX018-860-4520

